

学生の手引

令和6年度
保健学専攻
(博士前期課程)



金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
保健学専攻 (博士前期課程)

はじめに

この「学生の手引」は、学生の皆さんが保健学専攻に入学してから修了するまでの修学・学生生活上の手引です。また「学生便覧」にも有用な情報が掲載されていますので、修了までなくさないようにしてください。不明な点があれば問い合わせてください。

本書を大いに活用して、充実した研究活動を送ることを願っています。

医薬保健系事務部保健学支援課保健学務係

TEL (076) 265-2515

E-mail t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp

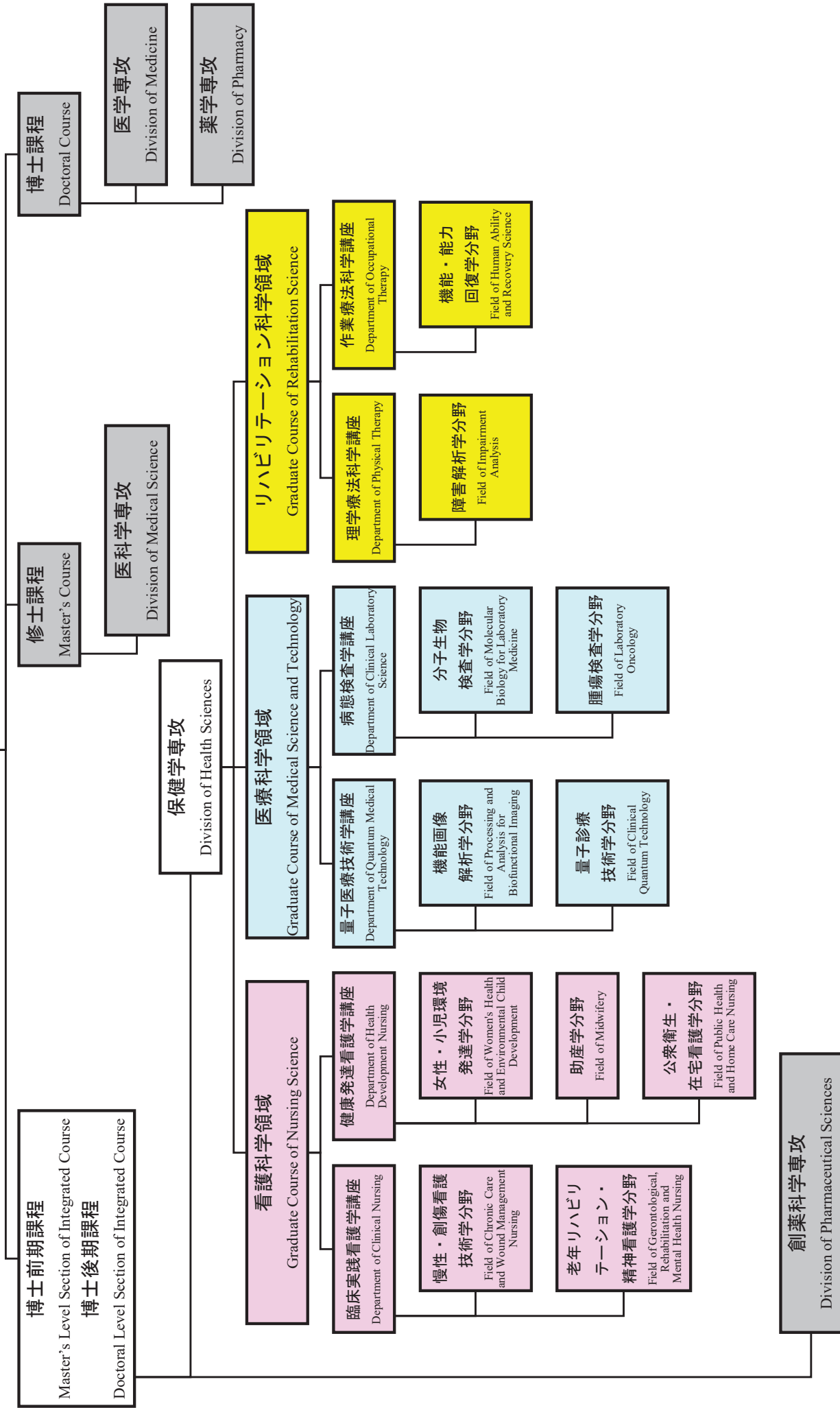
保健学専攻学生の手引（博士前期課程） 目次

○ 医薬保健学総合研究科組織図	1
○ 保健学専攻（博士前期課程）の3つのポリシー（AP, CP, DP）について	2
○ 金沢大学における国際化への取組と英語学修について	3
○ 保健学専攻（博士前期課程）授業科目一覧	4
○ 保健学専攻博士前期課程の研究指導等について	9
○ 保健学専攻博士前期課程の研究指導スケジュール	11
○ 保健学専攻博士前期課程の履修方法に関する細則	14
○ 保健学専攻博士前期課程学生の学位請求に関する細則	20
○ 保健学専攻（博士前期課程）学生の早期修了に係る申合せ	22
○ 保健学専攻における博士論文研究基礎力審査要項	24
○ 保健学専攻における長期履修に関する申合せ	27
○ 保健学専攻博士前期課程における英語外部試験について	29
○ 学修関係について	30
○ 学生生活関係について	32
○ ネットワーク関係について	34
○ 保健学類図書室利用案内	35
○ 医学図書館利用案内	40
○ 北信のシームレスながん医療を担う人材養成について	44
○ 宝町・鶴間キャンパスマップ	51
○ 保健学専攻キャンパスマップ	52

医薬保健学総合研究科組織図

金沢大学
Kanazawa University

大学院医薬保健学総合研究科
Graduate School of Medical Sciences



医薬保健学総合研究科 保健学専攻
【授与する学位】修士（保健学）

大学（大学院）の目的
金沢大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

学類（研究科）の教育研究上の目的
医薬保健学総合研究科は、医学、薬学及び保健学の教育、研究及び診療を通して、地域貢献、世界への情報発信並びに優秀な高度医療人、研究者及び専門的職業人を養成及び輩出することを目的とする。博士課程保健学専攻は、21世紀の保健学を先導する知の創成と新しい保健学の学問拠点形成を推進し、健全な保健、医療及び福祉の発展に寄与する人材を養成することを目的とする。博士前期課程保健学専攻は、看護科学、医療科学及びリハビリテーション科学の基盤を究め、保健学を臨床及び学際的に推進し、課題探求能力に優れた全人的高度専門医療人を養成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<p>【修了認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</p> <p>本学医薬保健学総合研究科保健学専攻は、研究を推進できる医療従事者を育成することが社会から期待されている。そうした人材を育成するために、本保健学専攻では、所定の課程を修め、必要な単位を修得し、修士論文の審査又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格し、次のような目標を達成した者に、保健学（修士）の学位を授与する。なお、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査は、大学院学則第28条第2項に規定する試験及び審査に代えることができる。</p>	<p>【教育課程編成に関する基本的考え方】</p> <p>・看護科学、医療科学、リハビリテーション科学における高度専門職業人の養成と、博士後期課程との一貫教育により保健学における教育者・研究者の育成が目標である。</p> <p>・保健学に関する豊かで幅広い学識と問題解決能力を有する高度専門医療人の育成を目指す。</p> <p>・看護科学領域、医療科学領域、リハビリテーション科学領域における教育者・研究者の育成を目指すとともに、高度化、多様化した保健・医療・福祉を支える高度で知的な素養のある医・保健学に関する豊かで幅広い学識と問題解決能力を有する高度専門医療人を育成する。</p> <p>【看護科学領域】 看護の主要概念や関連理論などを適切に活用し、現代社会の変化を鋭敏に捉え、かつ各教育研究分野における国内外の研究の動向をふまえながら、人々の健康に関する課題の探求とその解決に向けた研究を遂行できる能力を養う。それにより、人々の健康増進と、看護の質の向上、看護学の発展に寄与できる人材の育成を目指す。</p> <p>【医療科学領域】 医療画像技術・放射線治療技術と生体情報計測・検査技術の確立・発展を可能とする高度医療専門職、教育者、研究者を育成する。量子医療技術学講座では、医療画像技術及び放射線治療技術における高度な知識と幅広い視野で問題解決可能な指導的人材を輩出する。病態検査学講座では、組織・細胞・生体分子を対象とする臨床検査技術、及び医工学手法を融合した生体情報計測・検査技術について高度な知識と幅広い視野で問題解決可能な指導的人材を輩出する。</p> <p>【リハビリテーション科学領域】 特論、演習等の専門科目、課題研究においては、高度な専門知識・技能を修得するとともに、課題解決への思考の展開と解決に至る課程を経験させる。また研究課題の国際的動向を推察し、国際学会などへの参加機会を推進することでグローバルな視野を深める。さらに、理学療法及び作業療法の両分野の専門性を通して、地域医療を牽引するリーダーとしての素養を育む。</p>	<p>【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】</p> <p>【看護科学領域】 看護職としてより高度な専門性を修得することを基本目標とします。特に、看護研究とは何かを、研究計画の立案、研究の遂行を通して、自ら体得できる人材を育てることを目的とします。</p> <p>【医療科学領域】 生体情報を扱う医療画像技術、放射線治療技術、組織・細胞・生体分子を対象とする臨床検査技術、及び医工学手法を融合した生体情報計測・検査技術を対象とし、先端的で独創的な高度医療専門職、教育者、研究者を育成し、「医療科学」の確立・発展を目指しています。</p> <p>【リハビリテーション科学領域】 理学療法士と作業療法士の需要の増大に対して、より高度な専門職としての発展をリードし、効果の基礎と根拠を示す研究あるいは治療技術の開発に携わる人材の育成を目標としています。</p>
<p>【学生が身に付けるべき資質・能力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健学に関する幅広い豊かな学識・高度専門保健医療人としての倫理観と責任感 専門分野における高度な知識および実践能力 専門分野の研究基礎力・国際的視座をもった課題解決能力 学会および論文発表を通じ、自らの研究成果を発信する能力 	<p>【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</p> <p>保健学共通科目、領域共通科目を必修とし、他分野の科目も履修した上で、専門分野の科目と課題研究により教育課程を実施する。</p> <p>【看護科学領域】 看護科学領域共通科目では、看護の主要概念や関連理論、看護研究方法論等を体系的に学ぶ。また、各教育研究分野の特論、演習の講義・討議を通じて、国内外の研究の動向や課題を多角的に捉え探求する能力を養うことにより、研究領域に関する理解を深め視野を広げる。さらに、課題研究では一連の研究過程を通して各分野の発展に貢献する修士論文の作成を課す。</p> <p>【医療科学領域】 医療科学に関する各研究分野の特論や演習での教育指導により論理的思考力と実践力を養う。量子医療技術学講座では、各専門分野における国際学術集会への参加や発表を推奨し、研究のまとめ方や発表方法を修得させるとともに研究に対する意欲を高める。病態検査学講座は分子生物検査学と腫瘍検査学の教育研究分野からなり、特論・演習・課題研究により研究領域に理解を深め、視野を広げつつ研究方法と発表方法を修得させる。</p> <p>【リハビリテーション科学領域】 特論等の講義形式では、基本的な知識を整理して丁寧に説明し、発展的な内容では研究の背景等を説明し、知的好奇心と学修意欲を高める。研究課題等のゼミ形式では、研究課題の経過報告及び文献抄読を通して、当該研究領域に関する質疑、議論を重ねて理解を深め国際的視野を広げる。</p> <p>【学修成果の評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。 修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に対して審査基準と審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び最終試験を行う。なお、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査の審査は、大学院学則第28条第2項に規定する試験及び審査に代えることができる。 	<p>【求める人材】</p> <p>【看護科学領域】 ・看護学の研究の基礎となる学問領域を学びたい人。 ・博士後期課程に進みたい人。</p> <p>【医療科学領域】 ・「医療科学」における基礎的及び臨床的な知識獲得に真摯でリーダーとなるべき素養を備えた人。 ・指導的役割を担う教育者、研究者及び専門技術者となりうる意欲あふれた人。 ・新たな医療環境情勢に適應できる柔軟性を備えた人。</p> <p>【リハビリテーション科学領域】 運動器障害、中枢神経及び高次脳機能障害などの解析、評価、治療、回復と自立のための、臨床技術と基礎的解析学の研究を実施する過程でリハビリテーション科学の発展に寄与したいと願う学生を求めています。</p>
		<p>【選抜の基本方針】</p>
		<p>【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</p>

金沢大学における国際化への取組と英語学修について

社会のグローバル化が急速に進むなか、さまざまな場でグローバルに活躍できる人材の育成が、急務となっています。世界各国でこうした高度人材の育成が戦略的に進められる今、日本の大学においても、グローバルリーダー育成のための体制強化が求められています。また、大学院生にとっては研究を行う上で、英語が重要なスキルであることや海外での学修が貴重な経験となることについては言うまでもありません。

こうした背景から、金沢大学では、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに各種取組を進めています。

本学では学生の皆さんへの英語学習の継続的強化を目的とし、学類における複数の言語科目の開講や授業科目の英語化を進めるとともに、海外での学修体験を推奨するため、海外留学をはじめとした海外体験活動の支援等を実施しています。

皆さんの英語能力強化の一環として、平成 30 年度以降に博士前期課程（修士課程）に入学する原則全員に、英語の外部試験を在学中に受験する制度を設けました。

なお、金沢大学では英語学習のための E-Learning 講座、個別相談による学習支援等皆さんの継続的な英語学習に向けたサポートを実施していますので是非ご利用ください。

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程） 授業科目一覧

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号		担当教員	単位	時間	開講時期
				一般学生 履修登録用	14条特例 適用学生 履修登録用				
大学院GS基盤科目		異分野研究探査Ⅰ	異分野研究探査Ⅱ	別途通知		西村, 田中(浩)	0.5	15	1年Q1・ Q2
		異分野研究探査Ⅱ		0.5					
		研究者倫理	03601a-1	03601a-2	黒川, 大江	1	15	1年Q1 or 2年Q1	
		知識集約型社会とデータサイエンス	Q3水5: 03606.1 Q3火4: 03606.2 Q4集中: 03606.3		林(透), 南保	1	15	1年Q3 or Q4	
		次世代の先端科学技術	03607		米田(隆)	1	15	1年Q1	
		スマート創成科学	Q3火2: 03608.1 Q4金2: 03608.2 Q3金2: 03608.3		西山, 藤生, 大野(浩), 森	1	15	1年Q3 or Q4	
		イノベーション方法論	Q1月6: 03609.1 Q2月6: 03609.2		秋田, 浅川	1	15	1年Q1 or Q2	
		数理・データサイエンス・AI基盤	集中: 別途通知		川島	1	15	1年各Q	
			Q1金2: 03617.e1 Q2金2: 03617.e2 Q3金2: 03617.e3		中澤	1	15	1年Q1, Q2 or Q3	
		人間と社会の課題	Q2水5: 03610.1 Q4集中: 03610.2		小林(宏)	1	15	1年Q2 or Q4	
		ビジネス・技術マネジメント戦略論	03611a		木綿	1	15	1年Q1	
		ヘルスケア・イノベーション	03612		米田(隆), 佐々木, 米田 (貢)	1	15	1年Q2	
	破壊的イノベーションに向けた 技術経営	03613		松島	1	15	1年Q3		
保健学専攻共通科目		科学英語	03011-1	03011-2	エスピノザ	1	15	1年Q3 or 2年Q3	
		医療統計学特論	03006-1	03006-2	岡本(博), 川嶋, 菊池, 武田	2	30	1年前期	
		臨地マネージメント演習	別途通知		各教員	4	60	全学期	
		予防医学概論	03009		中村, 宮地	4	60	1年後期	

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※この表において「前期」とは4月～9月期を、「後期」とは10月～3月期を指す。また、「Q1」とは前期前半（第1クォーター）、「Q2」とは前期後半（第2クォーター）、「Q3」とは後期前半（第3クォーター）、「Q4」とは後期後半（第4クォーター）を指す。

※講義内容は、金沢大学シラバス (<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>) を参照すること。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号		担当教員	単位	時間	開講時期
				一般学生履修登録用	14条特例適用学生履修登録用				
看護科学領域 看護学	看護科学領域 共通科目		看護心理学特論	03108-1	03108-2	田中(浩), 足立	2	30	1年Q2
			看護学研究方法特論Ⅰ	03105-1	03105-2	田中(浩), 大江, 津田, 加藤, 鏡, 塚崎, 毎田, 表	1	15	1年Q1
			看護学研究方法特論Ⅱ	03106-1	03106-2	田中(浩), 大江, 多崎, 藤野, 鏡, 大桑	1	15	1年Q2
			看護理論特論	03103-1	03103-2	谷口, 多崎, 津田	1	15	1年Q1
			看護管理特論	03104a-1	03104a-2	田中(浩), 辻, 中西	1	15	1年Q4
			看護教育特論	03107-1	03107-2	加藤, 堀井, 足立, 大桑, 多崎, 田中(浩)	1	15	1年Q3
			サイコオンコロジー特論	03109-1	03109-2	田中(浩), 多崎, 津田	1	15	1年Q2
	臨床実践看護学	慢性・創傷看護技術学	創傷看護技術学特論	03111-1	03111-2	大桑, 大江, 向井	2	30	1年前期
			創傷看護技術学演習	03112-1	03112-2	大桑, 大江, 向井, 中島	4	60	1年後期
			慢性・終末期看護技術学特論	03113-1	03113-2	多崎, 藤野, 堀口, 浅田	2	30	1年前期
			慢性・終末期看護技術学演習	03114-1	03114-2	多崎, 藤野, 堀口, 浅田	4	60	1年後期
			(令和5年度以降入学者)慢性・創傷看護技術学課題研究	03131-1a	03131-2a	大桑, 多崎, 大江, 藤野, 向井, 堀口	10	300	1年後期～2年後期
			(令和4年度以前入学者)慢性・創傷看護技術学課題研究	03131-1b	03131-2b				2年前～後期
		老年リハビリテーション・精神看護学	老年・リハビリテーション看護学特論	03125-1	03125-2	加藤, 谷口, 正源寺	2	30	1年前期
			老年・リハビリテーション看護学演習	03126-1	03126-2	加藤, 谷口, 正源寺	4	60	1年後期
			精神看護学特論	03123-1	03123-2	田中(浩), 河村, 長田	2	30	1年前期
			精神看護学演習	03124-1	03124-2	田中(浩), 河村, 長田	4	60	1年後期
			(令和5年度以降入学者)老年リハビリテーション・精神看護学課題研究	03133-1a	03133-2a	加藤, 田中(浩), 河村, 正源寺	10	300	1年後期～2年後期
			(令和4年度以前入学者)老年リハビリテーション・精神看護学課題研究	03133-1b	03133-2b				2年前～後期
			健康発達看護学	女性・小児環境発達学	女性発達看護学特論	03141-1	03141-2	毎田, 鏡	2
	女性発達看護学演習	03142-1			03142-2	毎田, 鏡	4	60	1年後期
	小児環境発達学特論	03143-1			03143-2	津田	2	30	1年前期
	小児環境発達学演習	03144-1			03144-2	津田	4	60	1年後期
	(令和5年度以降入学者)女性・小児環境発達学課題研究	03161-1a			03161-2a	毎田, 津田, 鏡	10	300	1年後期～2年後期
(令和4年度以前入学者)女性・小児環境発達学課題研究	03161-1b	03161-2b			2年前～後期				

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※看護科学領域共通科目「生体機能学特論」は令和6(2024)年度開講しない。

※この表において「前期」とは4月～9月期を、「後期」とは10月～3月期を指す。また、「Q1」とは前期前半(第1クォーター)、「Q2」とは前期後半(第2クォーター)、「Q3」とは後期前半(第3クォーター)、「Q4」とは後期後半(第4クォーター)を指す。

※講義内容は、金沢大学シラバス (<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>) を参照すること。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号		担当教員	単位	時間	開講時期
				一般学生履修登録用	14条特例適用学生履修登録用				
看護学	健康発達看護学	助産学	助産学特論	03171		毎田, 鏡	2	30	1年前期
			助産学演習	03172		毎田, 鏡	4	60	1年後期
			助産学課題研究	03191		毎田, 鏡	10	300	2年前～後期
			助産学概論	03173		毎田, 鏡	2	30	1年前期
			ローリスク助産診断学	03174		毎田, 鏡	2	30	1年前期
			ハイリスク助産実践・応用学	03175a		毎田, 鏡	3	45	1年前～後期
			ウィメンズヘルスケア学	03186		毎田, 鏡	1	15	1年後期
			地域助産ケア学	03187		毎田, 鏡	1	15	1年後期
			国際助産学	03176		毎田, 鏡, 椿, 栗野	1	15	1年後期
			出産教育・コンサルテーション	03177a		鏡, 坂谷	2	30	1年後期
			助産管理学	03178		鏡, 頼	2	30	1年後期
			周産期助産診断演習Ⅰ(基礎)	03179b		毎田, 鏡, 小西, 栗野, 南, 宮西	2	60	1年前～後期
			周産期助産診断演習Ⅱ(応用)	03180b		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	4	120	1年前～後期
			助産学実習Ⅰ(分娩介助実習)	03188		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	3	135	1年前～後期
			助産学実習Ⅱ(アドバンスケア実習)	03189		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	2	90	1年後期
			助産学実習Ⅲ(ハイリスクケア実習)	03190		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	2	90	1年後期
			助産学実習Ⅳ(継続ケア実習)	03192		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	3	135	2年前期
		助産管理実習	03193		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	1	45	2年前期	
		地域助産実習	03194		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西	1	45	1年後期～2年前期	
		国際・比較助産実習	03185		毎田, 鏡, 小西, 南, 宮西, 椿	2	90	1年後期	
公衆衛生・在宅看護学	公衆衛生・在宅看護学特論	03153-1	03153-2	塚崎, 表, 岡本(理), 京田	2	30	1年前期		
	公衆衛生・在宅看護学演習	03154-1	03154-2	塚崎, 表, 岡本(理), 京田	4	60	1年後期		
	(令和5年度以降入学者)公衆衛生・在宅看護学課題研究	03163-1a	03163-2a	塚崎, 表, 岡本(理), 京田	10	300	1年後期～2年後期		
	(令和4年度以前入学者)公衆衛生・在宅看護学課題研究	03163-1b	03163-2b				2年前～後期		

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※この表において「前期」とは4月～9月期を、「後期」とは10月～3月期を指す。また、「Q1」とは前期前半(第1クォーター)、「Q2」とは前期後半(第2クォーター)、「Q3」とは後期前半(第3クォーター)、「Q4」とは後期後半(第4クォーター)を指す。

※講義内容は、金沢大学シラバス(<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>)を参照すること。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号		担当教員	単位	時間	開講時期		
				一般学生履修登録用	14条特例適用学生履修登録用						
医 療 科 学	医療科学領域 共通科目		医用放射線科学研究方法論	03301-1	03301-2	中山, 岡本(博), 松原, 北尾, 田中(利), 林(裕), 小林(正), 大野, 川嶋, 澁谷, 水谷, 目片	1	15	1年Q1		
			医用検査科学研究方法論	03302-1	03302-2	稲津, 本多, 櫻井, 森下, 笠島, 生田, 林(研), 杉谷, 片桐, 荒磯, 尾崎, 村居, 長屋, 田崎	1	15	1年Q2		
			医学物理学特論	03303a-1	03303a-2	武村, 川井, 宮地, 市川, 川島, 北尾, 岡本(博), 中山, 松原, 田中(利), 林(裕)	1	15	全学年前/後期		
			放射線医療特論	03304-1	03304-2	武村, 松原, 小林(正)	1	15	全学年前/後期		
	量子医療技術学	機能画像解析学		放射線画像構築学特論	03311-1	03311-2	市川, 岡本(博), 田中(利), 林(裕), 川嶋	2	30	1年前期	
				放射線画像構築学演習	03312-1	03312-2	市川, 岡本(博), 田中(利), 林(裕), 川嶋	4	60	1年後期	
				生体機能解析学特論	03313-1	03313-2	川井, 小林(正), 水谷	2	30	1年前期	
				生体機能解析学演習	03314-1	03314-2	川井, 小林(正), 水谷	4	60	1年後期	
				生体画像情報学特論	03315-1	03315-2	宮地, 中山, 大野	2	30	1年前期	
				生体画像情報学演習	03316-1	03316-2	宮地, 中山, 大野	4	60	1年後期	
				(令和5年度以降入学者)機能画像解析学課題研究	03331-1a	03331-2a	川井, 宮地, 市川, 小林(正), 岡本(博), 中山, 田中(利), 林(裕), 大野	10	300	1年後期~2年後期	
		(令和4年度以前入学者)機能画像解析学課題研究	03331-1b	03331-2b	2年前~後期						
		量子診療技術学			臨床画像技術学特論	03321-1	03321-2	川島, 北尾	2	30	1年前期
					臨床画像技術学演習	03322-1	03322-2	川島, 北尾	4	60	1年後期
					放射線治療安全技術学特論	03323-1	03323-2	武村, 松原	2	30	1年前期
					放射線治療安全技術学演習	03324-1	03324-2	武村, 松原	4	60	1年後期
					分子イメージング学特論	03325a-1	03325a-2	澁谷	2	30	1年前期
					分子イメージング学演習	03326a-1	03326a-2	澁谷	4	60	1年後期
	(令和5年度以降入学者)量子診療技術学課題研究				03332-1a	03332-2a	川島, 武村, 松原, 北尾	10	300	1年後期~2年後期	
	(令和4年度以前入学者)量子診療技術学課題研究	03332-1b	03332-2b	2年前~後期							
	病態検査学	分子生物検査学		感染病原因子学特論	03343-1	03343-2	生田, 杉谷	2	30	1年前期	
				感染病原因子学演習	03344-1	03344-2	生田, 杉谷	4	60	1年後期	
				医用工学特論	03341-1	03341-2	林(研), 田崎	2	30	1年前期	
				医用工学演習	03342-1	03342-2	林(研), 田崎	4	60	1年後期	
				生命情報処理学特論	03345-1	03345-2	稲津, 荒磯, 永島田	2	30	1年前期	
				生命情報処理学演習	03346-1	03346-2	稲津, 荒磯, 永島田	4	60	1年後期	
				(令和5年度以降入学者)分子生物検査学課題研究	03361-1a	03361-2a	稲津, 生田, 林(研), 杉谷, 荒磯	10	300	1年後期~2年後期	
				(令和4年度以前入学者)分子生物検査学課題研究	03361-1b	03361-2b				2年前~後期	

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※この表において「前期」とは4月~9月期を、「後期」とは10月~3月期を指す。また、「Q1」とは前期前半(第1クォーター)、「Q2」とは前期後半(第2クォーター)、「Q3」とは後期前半(第3クォーター)、「Q4」とは後期後半(第4クォーター)を指す。

※講義内容は、金沢大学シラバス (<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>) を参照すること。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号		担当教員	単位	時間	開講時期
				一般学生履修登録用	14条特例適用学生履修登録用				
医療科学	病態検査学	腫瘍検査学	血液免疫病態学特論	03351-1	03351-2	森下, 片桐, 長屋	2	30	1年前期
			血液免疫病態学演習	03352-1	03352-2	森下, 片桐, 長屋	4	60	1年後期
			腫瘍分子生物学特論	03353-1	03353-2	本多, 櫻井, 尾崎, 村居	2	30	1年前期
			腫瘍分子生物学演習	03354-1	03354-2	本多, 櫻井, 尾崎, 村居	4	60	1年後期
			臨地マネジメント病理演習	03355-1	03355-2	笠島, 尾崎	4	60	1年前期
			細胞診断学演習	03356-1	03356-2	笠島, 尾崎	4	60	1年後期
			(令和5年度以降入学者)腫瘍検査学課題研究	03362-1a	03362-2a	本多, 櫻井, 森下, 笠島, 片桐	10	300	1年後期~2年後期
			(令和4年度以前入学者)腫瘍検査学課題研究	03362-1b	03362-2b				2年前~後期
リハビリテーション科学	リハビリテーション科学領域共通科目	理学療法学研究方法論	03501-1	03501-2	浅井, 山崎, 林(克), 久保田, 横川, 田中(正), 松崎, 間所	1	15	1年Q1	
		作業療法学研究方法論	03502-1	03502-2	柴田, 西村, 杉本, 多田, 米田, エスピノザ	1	15	1年Q1	
		教育学	03503-1	03503-2	桑村	2	30	1年後期	
		教育方法論	03504-1	03504-2	杉森	2	30	1年後期	
	理学療法科学	障害解析学	障害評価学特論	03511-1	03511-2	林(克), 久保田, 田中(正), 松崎	2	30	1年前期
			障害評価学演習	03512-1	03512-2	林(克), 久保田, 田中(正), 松崎	4	60	1年後期
			機能回復学特論	03513-1	03513-2	浅井, 山崎, 横川, 間所	2	30	1年前期
			機能回復学演習	03514-1	03514-2	浅井, 山崎, 横川, 間所	4	60	1年後期
			(令和5年度以降入学者)障害解析学課題研究	03521-1a	03521-2a	浅井, 山崎, 林(克), 横川, 久保田	10	300	1年後期~2年後期
			(令和4年度以前入学者)障害解析学課題研究	03521-1b	03521-2b				2年前~後期
	作業療法科学	機能・能力回復学	生理機能解析学特論	03531-1	03531-2	杉本, 多田, 米田, エスピノザ, 菊池	2	30	1年前期
			生理機能解析学演習	03532-1	03532-2	杉本, 多田, 米田, エスピノザ, 菊池	4	60	1年後期
作業能力回復学特論			03533-1	03533-2	柴田, 西村, 中嶋, 武田	2	30	1年前期	
作業能力回復学演習			03534-1	03534-2	柴田, 西村, 中嶋, 武田	4	60	1年後期	
(令和5年度以降入学者)機能・能力回復学課題研究			03541-1a	03541-2a	柴田, 西村, 杉本, 多田, 米田, エスピノザ	10	300	1年後期~2年後期	
(令和4年度以前入学者)機能・能力回復学課題研究			03541-1b	03541-2b				2年前~後期	

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※「教育学」及び「教育方法論」は教員免許を取得するための教職科目ではない。隔年開講とし、令和7(2025)年度に開講する。

※この表において「前期」とは4月~9月期を、「後期」とは10月~3月期を指す。また、「Q1」とは前期前半(第1クォーター)、「Q2」とは前期後半(第2クォーター)、「Q3」とは後期前半(第3クォーター)、「Q4」とは後期後半(第4クォーター)を指す。

※講義内容は、金沢大学シラバス (<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>) を参照すること。

保健学専攻博士前期課程の研究指導等について

1. 研究指導体制について

研究指導の充実を図るために複数教員による研究指導を行います。

1) 研究指導グループ

- ① 研究指導グループは、主任指導教員1名、副指導教員1名以上及び研究連携協力教員1名の合計3名以上で構成されます。(親族を主任指導教員にすることはできません。)
- ② 研究指導グループの編成は、教務委員会が調整し、博士課程委員会で決定されます。
- ③ 指導教員が転出等で不在となったときにも、学生の研究計画遂行に支障を及ぼさないように速やかに後任者を定めて補充するように配慮されます。

2) 主任指導教員

- ① 主任指導教員は、履修計画の作成、研究計画の立案、研究の遂行、学位論文の作成、学位請求などの指導を行います。
- ② 主任指導教員が指導する学生数については、実質的かつ十分な研究指導が可能であることを考慮します。

3) 副指導教員

- ① 副指導教員は、研究計画、研究進捗状況、学位論文についての助言などの指導を主任指導教員と協力して行います。
- ② 学生は主任指導教員と相談の上、副指導教員を選んでください。主任指導教員は、学生が研究計画を遂行する上で適切な副指導教員を選ぶように指導します。

4) 研究連携協力教員

- ① 研究連携協力教員は、他の指導教員や学生に対し、研究指導環境全体に関する相談、助言及び面談を行います。
- ② 学生は主任指導教員と相談の上、研究連携協力教員を選んでください。主任指導教員は、適切な研究連携協力教員を選ぶように指導します。

2. 研究指導及び学位請求手続き

所定の年限(標準修業年限2年)で修了するための研究指導及び学位請求のスケジュールは以下のとおりです。

- ① 主任指導教員に対し副指導教員及び研究連携協力教員の推薦を依頼し、研究指導グループを決めてください。
- ② 指導教員の指導のもとに授業科目履修計画を作成してください。
- ③ 指導教員の助言を受け研究計画を立案してください。
- ④ 研究計画に従って研究を遂行してください。研究計画に大きな変更があった場合には、指導教員に報告してください。
- ⑤ 倫理審査が必要な研究内容の場合は、指導教員と相談の上、倫理審査委員会に審査を申請してください。

以下、各学位請求のスケジュール

～学位論文による学位請求～

- ⑥ 研究成果を指導教員の指導のもとに学位論文としてまとめてください。
- ⑦ 「博士前期課程の学位請求に関する細則」(後述)に従って、期日までに学位請求手続きを行ってください。
- ⑧ 学位論文の審査及び口述による最終試験を行います。
- ⑨ 単位修得状況及び最終試験の結果に基づき博士課程委員会で最終審査が行われます。合格した場合は、博士前期課程を修了するとともに、修士(保健学)の学位が授与されます。

～「特定の課題についての研究の成果」による学位請求～

学位論文による学位請求に準じます。

～博士論文研究基礎力審査(QE)による学位請求～ (博士後期課程への進学希望者は、原則QEを受験)

- ⑥ 研究成果を指導教員の指導のもとにまとめ、博士論文研究基礎力受験申請書を作成してください。
- ⑦ 「博士論文研究基礎力審査要項」(後述)に従って、期日までに学位請求手続きを行ってください。
- ⑧ 筆記試験及び口頭試問を行います。
- ⑨ 単位修得状況及び博士論文研究基礎力審査の結果に基づき博士課程委員会で最終審査が行われます。合格した場合は、博士前期課程を修了するとともに、修士(保健学)の学位が授与されます。

3. 早期修了

博士課程委員会が特に優れた業績を上げたと認める者については1年以上在学すれば修了することができます。

4. 指導教員との面談

前期及び後期(1年次は前期の出来るだけ早い時期)の年2回、研究連携協力教員と面談を実施します。個人面談とし、原則対面で行いますが、留学や社会人学生等で対面による面談が難しい場合は、電話やビデオ通話、メール、SNS等で行います。

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）

研究指導スケジュール

【修士論文による修了者】

1年次		2年次		
4月	<ul style="list-style-type: none"> 主任指導教員，副指導教員及び研究連携協力教員の決定 研究題目の決定 	授業科目の履修	授業科目の履修	
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				<ul style="list-style-type: none"> 学位審査願等提出
2月				<ul style="list-style-type: none"> 学位論文最終試験
3月				<ul style="list-style-type: none"> 学位授与判定 学位記授与

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）

研究指導スケジュール

【特定の課題についての研究成果による修了者】

1年次		2年次		
4月	<ul style="list-style-type: none"> 主任指導教員，副指導教員及び研究連携協力教員の決定 研究題目の決定 	授業科目の履修	授業科目の履修	
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				<ul style="list-style-type: none"> 学位審査願等提出
2月				<ul style="list-style-type: none"> 特定の課題についての研究成果最終試験
3月				<ul style="list-style-type: none"> 学位授与判定 学位記授与

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）

研究指導スケジュール

【博士論文研究基礎力審査（QE）による修了者】

1年次		2年次		
4月	・主任指導教員，副指導教員及び研究連携協力教員の決定 ・研究題目の決定	授業科目の履修	授業科目の履修	
5月				
6月				
7月				・QE受験申請書，学位審査願等提出
8月				・QE受験
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				・学位授与判定 ・学位記授与

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程の履修方法に関する細則

(趣旨)

第1条 医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程の履修方法については、金沢大学大学院学則、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程（以下「研究科規程」という。）に定めるもののほか、この細則の定めるところによるものとする。

(履修方法)

第2条 研究科規程第20条第4項に定める30単位（看護科学領域助産学分野を除く）は次の区分（別表1）により、履修しなければならない。

(1) 必修科目

ア 大学院GS基盤科目「異分野研究探査Ⅰ」0.5単位、「異分野研究探査Ⅱ」0.5単位を修得する。

イ 大学院GS基盤科目「研究者倫理」1単位を修得する。

ウ 大学院GS基盤科目「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「イノベーション方法論」、「数理・データサイエンス・AI基盤」から1科目1単位を修得する。

エ 大学院GS基盤科目「人間と社会の課題」、「ビジネス・技術マネジメント戦略論」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」から1科目1単位を修得する。

オ 所属する領域が開講する共通科目から1科目1単位を修得する。

カ 所属する大講座の科目から2科目12単位（特論2単位・課題研究10単位）を修得する。

キ 所属する大講座の演習科目から1科目4単位（臨地マネジメント演習を含む）を修得する。

(2) 選択科目

ア 保健学専攻の最低修得要件を超える科目から3科目以上・9単位を修得する。

イ 学生は本研究科の他の専攻及び本学の他の研究科の授業科目を履修することができる。ただし、各専攻長、各研究科長の許可を受ける必要がある。修得した単位は博士課程委員会の議に基づき、保健学専攻の選択科目単位の一部として認定することができる。

2 研究科規程第20条第4項に定める61単位（看護科学領域助産学分野）は次の区分（別表2）により履修しなければならない。

(1) 必修科目

ア 大学院GS基盤科目「研究者倫理」1単位を修得する。

イ 大学院GS基盤科目「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「イノベーション方法論」、「数理・データサイエンス・AI基盤」、「人間と社会の課題」、「ビジネス・技術マネジメント戦略論」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」から2科目2単位（本学が別に指示する者で「異分野研究探査Ⅰ」0.5単位、「異分野研究探査Ⅱ」0.5単位の計1単位を修得したものは1科目1単位）を修得する。

ウ 看護科学領域が開講する共通科目から1科目1単位を修得する。

エ 助産学分野の科目から「助産学特論」2単位、「助産学課題研究」10単位を修得する。

オ 助産学分野の演習科目から「助産学演習」4単位を修得する。

カ 助産学分野専門科目（指定規則）16科目32単位を修得する。

(2) 選択科目

大学院 GS 基盤科目及び看護科学領域共通科目の最低修得要件を超える科目、保健学専攻共通科目、女性・小児環境発達学分野の科目「女性発達看護学特論」並びに助産学分野の科目「国際・比較助産実習」から3科目以上・9単位を修得する。

3 研究科規程第20条第4項に定める32単位（大学院学則第28条第2項に規定する試験及び審査により修了する者（看護科学領域助産学分野を除く））は次の区分（別表3）により、履修しなければならない。

(1) 必修科目

- ア 大学院GS基盤科目「異分野研究探査Ⅰ」0.5単位、「異分野研究探査Ⅱ」0.5単位を修得する。
- イ 大学院GS基盤科目「研究者倫理」1単位を修得する。
- ウ 大学院GS基盤科目「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「イノベーション方法論」、「数理・データサイエンス・AI基盤」から1科目1単位を修得する。
- エ 大学院GS基盤科目「人間と社会の課題」、「ビジネス・技術マネジメント戦略論」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」から1科目1単位を修得する。
- オ 所属する領域が開講する共通科目から1科目1単位を修得する。
- カ 所属する大講座の科目から2科目12単位（特論2単位・課題研究10単位）を修得する。
- キ 所属する大講座の演習科目から1科目4単位（臨地マネジメント演習を含む）を修得する。

(2) 選択科目

- ア 保健学専攻の最低修得要件を超える科目から4科目以上・11単位を修得する。
- イ 学生は本研究科の他の専攻及び本学の他の研究科の授業科目を履修することができる。ただし、各専攻長、各研究科長の許可を受ける必要がある。修得した単位は博士課程委員会の議に基づき、保健学専攻の選択科目単位の一部として認定することができる。

(教育課程に関する審議)

第3条 学位授与に関する審議は、博士課程委員会で行う。

(論文作成・研究指導体制・学位請求手続き)

第4条 論文作成、研究指導体制、学位請求手続き等に関する事項は、別途定めるものとする。

(補則)

第5条 この細則の改正には、博士課程委員会委員の2分の1以上の同意を要する。

附 則

- 1 この細則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

別表1

博士前期課程

区 分	履 修 科 目	単位数
必 修	大学院GS 基盤科目「異分野研究探査Ⅰ」,「異分野研究探査Ⅱ」	2科目 1単位
	大学院GS 基盤科目「研究者倫理」	1科目 1単位
	大学院GS 基盤科目「知識集約型社会とデータサイエンス」,「次世代の先端科学技術」,「スマート創成科学」,「イノベーション方法論」,「数理・データサイエンス・AI 基盤」から	1科目 1単位
	大学院GS 基盤科目「人間と社会の課題」,「ビジネス・技術マネジメント戦略論」,「ヘルスケア・イノベーション」,「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」から	1科目 1単位
	所属する領域の共通科目から	1科目 1単位
	所属する大講座の科目から（特論2, 課題研究10）	2科目 12単位
	所属する大講座から演習科目（臨地マネジメント演習を含む）	1科目 4単位
選 択	保健学専攻の最低修得要件を超える科目から（他専攻又は他研究科の開講科目は各専攻長, 各研究科長の許可により可能）	3科目 以上 9単位
合 計		30単位

別表2

看護科学領域助産学分野

区分	履修科目	科目数	単位数
必修	大学院GS基盤科目「研究者倫理」	1科目	1単位
	大学院GS基盤科目「知識集約型社会とデータサイエンス」, 「次世代の先端科学技術」, 「スマート創成科学」, 「イノベーション方法論」, 「数理・データサイエンス・AI 基盤」, 「人間と社会の課題」, 「ビジネス・技術マネジメント戦略論」, 「ヘルスケア・イノベーション」, 「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」から	2科目 ※	2単位 ※
	看護科学領域の共通科目から	1科目	1単位
	助産学分野の科目から (特論2, 課題研究10)	2科目	12単位
	助産学分野の演習科目から	1科目	4単位
	助産学分野専門科目 (指定規則) (助産学概論2, ローリスク助産診断学2, ハイリスク助産実践・応用学3, ウィメンズヘルスケア学1, 地域助産ケア学1, 国際助産学1, 出産教育・コンサルテーション2, 助産管理学2, 周産期助産診断演習I (基礎)2, 周産期助産診断演習II (応用)4, 助産学実習I (分娩介助実習)3, 助産学実習II (アドバンスケア実習)2, 助産学実習III (ハイリスクケア実習)2, 助産学実習IV (継続ケア実習)3, 助産管理実習1, 地域助産実習1)	16科目	32単位
選択	大学院GS基盤科目及び看護科学領域共通科目の最低修得要件を超える科目, 保健学専攻共通科目, 女性・小児環境発達学分野の科目「女性発達看護学特論」並びに助産学分野の科目「国際・比較助産実習」から	3科目 以上	9単位
合計			61単位

※本学が別に指示する者で「異分野研究探査Ⅰ」0.5単位, 「異分野研究探査Ⅱ」0.5単位の計1単位を修得したものは1科目1単位

別表 3

博士前期課程（大学院学則第 28 条第 2 項に規定する試験及び審査により修了する者）

区 分	履 修 科 目		単位数
必 修	大学院 GS 基盤科目「異分野研究探査 I」, 「異分野研究探査 II」	2 科目	1 単位
	大学院 GS 基盤科目「研究者倫理」	1 科目	1 単位
	大学院 GS 基盤科目「知識集約型社会とデータサイエンス」, 「次世代の先端科学技術」, 「スマート創成科学」, 「イノベーション方法論」, 「数理・データサイエンス・AI 基盤」 から	1 科目	1 単位
	大学院 GS 基盤科目「人間と社会の課題」, 「ビジネス・技術マネジメント戦略論」, 「ヘルスケア・イノベーション」, 「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」 から	1 科目	1 単位
	所属する領域の共通科目から	1 科目	1 単位
	所属する大講座の科目から（特論 2, 課題研究 10）	2 科目	12 単位
	所属する大講座から演習科目（臨地マネジメント演習を含む）	1 科目	4 単位
選 択	保健学専攻の最低修得要件を超える科目から（他専攻又は他研究科の開講科目は各専攻長, 各研究科長の許可により可能）	4 科目 以上	11 単位
合 計			32 単位

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程学生の学位請求に関する細則

(趣旨)

第1条 医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程(以下「前期課程」という。)の学位授与に関しては、金沢大学大学院学則、金沢大学学位規程、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程によるもののほか、この細則による。

(学位論文の提出資格)

第2条 前期課程に2年以上在学し、研究科規程に定める単位を修得した者は、学位論文を提出することができる。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げ、博士課程委員会の審査に合格した者は、1年以上在学すれば論文を提出することができる。

(学位論文提出者の提出資格認定)

第3条 学位論文提出者の資格は、主任指導教員の確認により博士課程委員会委員長が認定する。前条に定めた学位論文提出資格者は、学位論文1編を提出する。

(学位論文の提出)

第4条 学位論文の審査を願い出る者は、下記の書類を添えて、保健学務係へ提出する。

(1) 学位論文(1部)

論文審査願(指定用紙)

論文目録(指定用紙)

履歴書(指定用紙)

論文要旨(A4用紙で英文にて500語以内)

英語外部検定試験スコア(写し)(英語外部検定試験に関し必要な事項は、別に定める。)

(2) 提出期限は1月第3週金曜日(当日が祭日の場合は前日)とする。ただし、9月期修了者については、7月第4週金曜日(当日が祭日の場合は前日)とする。

(論文の審査)

第5条 受理した学位論文の審査は下記の要領で行う。

(1) 学位論文の審査及び最終試験は、2月末日までに終了するものとする。9月期修了者については8月末日までに終了するものとする。

(2) 学位論文の審査員は、博士課程委員会で承認された主査(原則として主任指導教員)と副査1名以上とする。

(3) 学位請求者の3親等以内の親族は、当該学位審査の審査員になれない。

(4) 審査員に不測の事態が生じ、審査が不可能となった場合、保健学専攻長が代替りの審査員を指名する。

(5) 主査は、1,000字以内の論文内容の要旨及び審査結果の要旨を作成し、博士課程委員会にて報告する。

(6) 最終試験の方法は、審査員全員が合同し、口頭試問により行う。なお最終試験は公開とし、審査員以外の医薬保健学総合研究科教員、大学院生並びに医学研究に携わる関係者が出席して発言することができる。

(7) 判定は、審査員全員が適格と認めたものを合格とし、一致をみなかったものを不合格とする。

(学位授与に関する審議)

第6条 学位授与に関する審議は、本学学位規程第12条により博士課程委員会にて行う。審議には、博士課程委員会構成員の3分の2以上の出席を必要とし、出席した構成員の3分の2以上の多数をもって決するものとする。

(補則)

第7条 本細則の改正には、博士課程委員会構成員の3分の2以上の同意を要する。

附則

この内規は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この細則は、平成20年10月1日から施行する。

附則

この細則は、平成26年8月6日から施行する。

附則

この細則は、平成28年2月3日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附則

この細則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、第4条(1)論文要旨の改正規定については、令和3年度入学者から適用する。

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）学生の早期修了に係る申合せ

（趣旨）

- 1 この申合せは、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程第20条第4項ただし書に規定する優れた業績を上げた者に係る、保健学専攻における在学期間の短縮による課程の修了（以下「早期修了」という。）に関し、対象者の要件及び資格審査に必要な提出書類等について必要な事項を定めるものである。

（早期修了対象者の要件）

- 2 早期修了において、医薬保健学総合研究科規程第20条第4項ただし書に規定する「優れた業績を上げた」とは、次に掲げる要件にすべて該当する状況をいう。
 - （ア） 学位論文以外の論文（以下「参考論文」という。）が1編以上あること。

ここにおいて参考論文とはレフェリー付きジャーナルに掲載（あるいは掲載決定）された、学生本人が中心になってまとめた筆頭論文を指す。研究業績の一部は大学院在学中に行われたものでなければならず、参考論文には原則として申請者の所属が本学と明記されていなければならない。
 - （イ） 博士前期課程を優秀な学業成績で終えること。

（提出書類及び提出期限）

- 3
 - （1） 早期修了による学位請求の資格審査を願い出る者は、以下に示す書類を添えて保健学専攻長（提出先：保健学務係）へ提出する。
 - （ア） 早期修了審査願（様式1）
 - （イ） 研究成果要旨（A4版 様式任意）
 - （ウ） 論文目録（様式2）
 - （エ） 参考論文（各3部）
 - （オ） 履歴書（様式3）
 - （カ） 早期修了対象者推薦書（様式4）
 - （2） 資格審査にかかる提出書類の提出期限は、3月修了（在学期間1年）を希望する場合は前年12月第1週金曜日とする。9月修了（在学期間1年6か月）を希望する場合は6月第4週金曜日とする。

（資格審査方法）

- 4
 - （1） 専攻長は、早期修了による学位請求資格の有無について審査するため、申請者ごとに予備審査委員会を設ける。
 - （2） 予備審査委員会委員は専攻長が指名する学位論文審査員を含む委員長1名、委員1名以上をもって構成するものとする。ただし、参考論文の共著者は委員長になれない。
 - （3） 予備審査委員会は、原則として学位請求論文提出期限の1週間前（当日が祝祭日の場合はその翌日以降の平日）までに審査を終了した上で、「早期修了予備審査結果報告書」（様式5）を作成し、専攻長（提出先：保健学務係）に審査結果を報告する。

- (4) 学位論文提出者の資格は，予備審査委員会の報告をもとに，博士課程委員会が認定する。なお，認定には出席した博士課程委員会構成員の3分の2以上の賛成を要するものとする。

附 則

この申合せは平成22年6月2日から施行し，平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この申合せは令和4年4月6日から施行し，令和4年4月1日から適用する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者については，なお従前の例による。

医薬保健学総合研究科保健学専攻における博士論文研究基礎力審査要項

1. 博士論文研究基礎力審査 (Qualifying Examination, 以下「QE」という。) について

博士前期課程の修了要件として課されている修士論文又は特定の課題についての研究の成果に代えて実施する試験であり、合格した者には修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験を経ずに修士の学位が授与される。

2. 受験資格

保健学専攻博士前期課程2年次に在籍する者又は1年次に在籍する者で早期修了を希望するものうち、博士後期課程への進学を希望するもの

修士論文又は特定の課題についての研究の成果による修了か QE による修了かは主任指導教員に相談の上、学生が選択するが、「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト」の採用者は QE を選択しなければならない。

3. 提出書類

- ・博士論文研究基礎力審査受験申請書 (研究計画書を含む)
- ・学位審査願
- ・履歴書

4. 審査方法

以下の2段階方式による厳格な審査を実施し、修士論文による修了者と同等以上の能力があることを厳正に確認し、教育の質を保証する体制とする。

(1) 筆記試験

専攻分野とその関連分野の専門的知識・能力を評価する。

試験時間は60分、100点満点とし、講座ごとに問題作成及び採点を行う。

(2) 研究計画に係る試問及び口頭試問

博士論文研究を行う分野に係る研究の背景や意義、展望に関する認識や、課題を設定し研究を推進する能力等を評価する。

口頭試問は30分(研究計画の発表20分+質疑応答10分)とし、医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程入学志願者は、博士後期課程入試における口述試験を兼ねて実施することができる。

審査委員は3名以上とし、主任指導教員は主査となることはできない。また、当該学生と異なる教育研究分野の教員を1名以上含める。

評価は全学統一の「研究計画に係る試問及び口頭試問評価票」に基づき、A(優れている/Excellent)・B(良い/Good)・C(平均的/Unsatisfactory)・D(平均以下/Not good)の4段階で行う。

※医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程入学志願者は、QEの口頭試問と博士後期課程入試の口述試験を同時に行う場合も、評価は別々に行う(入試の口述試験は、従来通り100点満点で評価する)。必要があれば30分を超える試験時間を設定してもよい。

5. 合否判定

「筆記試験で 60 点以上」かつ「研究計画に係る試問及び口頭試問で総合判定 B 以上」の者を合格とし、博士課程委員会及び研究科会議代議員会にて判定する。

6. 不合格者の取扱い

再試験を受験するか修士論文又は特定の課題についての研究の成果による審査に切り替えるかを主任指導教員に相談の上、学生が選択する。

再試験は 1 回限りとし、3 月期修了者は前年 12 月に実施し、9 月期修了者は当年 8 月に実施する。1 回目の受験時に筆記試験で 60 点以上を獲得した場合は、再試験時の筆記試験受験を免除する。また、1 回目の受験時に研究計画に係る試問及び口頭試問で総合判定 B 以上を獲得した場合は、再試験時の研究計画に係る試問及び口頭試問受験を免除する。

7. 修了（単位修得）要件

令和 4 年度以降入学者で QE を選択するものは、合計 32 単位以上の修得を要件とする。

令和 2 年度・令和 3 年度入学者で QE を選択するものは、研究科規程上の修了要件は合計 30 単位以上だが、32 単位以上の修得を強く推奨する。

8. 学位申請・学位授与判定

QE を受験する者は、3 月期修了者は前年 7 月中旬に学位申請を行い、9 月期修了者は当年 3 月中旬に学位申請を行う（博士論文研究基礎審査受験申請書と併せて、学位審査願・履歴書を提出）。

その後、修士論文提出者と同時に学位授与判定（修了判定）を行う。

9. スケジュール

【3 月期修了者】

7 月中旬	受験申請書提出（博士後期課程入試の出願期間と同時期） 学位申請	
8 月下旬	筆記試験・口頭試問の実施（博士後期課程入試と同日）	
9 月上旬	合否判定	【1 回目で不合格の場合】
11 月下旬		再受験申請書提出
12 月下旬		再審査の実施
1 月上旬		再審査合否判定
3 月上旬	学位授与判定（修了判定）	
3 月 22 日	学位授与	

【9月期修了者】

3月中旬	受験申請書提出 学位申請	
4月下旬	筆記試験・口頭試問の実施	
5月上旬	合否判定	【1回目で不合格の場合】
7月中旬		再受験申請書提出
8月下旬		再審査の実施
9月上旬		再審査合否判定
9月上旬	学位授与判定（修了判定）	
9月26日	学位授与	

附則

この要項は、令和4年7月6日から施行する。

附則

この要項は、令和5年5月10日から施行する。

附則

この要項は、令和6年1月10日から施行する。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻における長期履修に関する申合せ

1. 趣旨

この申合せは、金沢大学学則第 58 条及び金沢大学大学院学則第 27 条の規定に基づく、金沢大学長期履修の取扱いに関する規程に定めるもののほか、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期・後期課程）における長期履修に関し、必要な事項を定める。

2. 対象となる学生

次の各号の一に該当する者で、金沢大学大学院学則第 6 条に規定する標準修業年限内での修学が困難な事情にある者とする。ただし、在学者にあつては、修了予定年次の者を除く。

- (1) 入学時及び在学時において社会人有職者で、職務上の事情により、著しく学修時間の制約を受ける者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者で、その事情により著しく学修時間の制約を受ける者
- (3) 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者で、その事情により著しく学修時間の制約を受ける者

3. 長期履修の申請

長期履修を希望する者は、指導（予定）教員の承認を得て研究科長に提出するものとする。

4. 長期履修の許可期間

博士前期課程及び博士後期課程においては、在学年限の範囲内で年又は学期単位で認める期間とする。

5. 申請期間

- (1) 入学予定者で対象となる者は、入学手続期間内に長期履修申請書を提出するものとする。
- (2) 在学者で対象となる者は、2 月末日又は 8 月末日までに長期履修申請書を提出するものとする。

6. 証明書類

- (1) 有職者
所属長が発行する承諾書
ただし、以前に提出済の者は、不要
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
上記に従事していることの証明書等又は申立書
- (3) 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者
医師の診断書等

7. 長期履修の短縮手続

長期履修を許可された者が、在学期間を短縮しようとするときは、指導教員の承認を得て長期履修短縮申請書を研究科長に提出するものとする。

8. 長期履修の短縮の申請期間

9月修了希望の場合は前年度の2月末日、3月修了希望の場合は8月末日とする。

9. 長期履修の開始日及び短縮の開始日

各学期の始めとする。

10. 長期履修に関することで、上記以外に関わる事項については、教務委員会で審議の上、医薬保健学総合研究科保健学専攻博士課程委員会の議を経て決定するものとする。

附 則

この申し合せは、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この申し合せは、平成26年8月6日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この申し合せは、平成28年3月2日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則

この申し合せは、令和2年6月3日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程における英語外部試験について

平成30年度の医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程入学者から、学位論文の提出時（学位論文の審査を願い出る時）に、英語外部試験のスコア（写し）が必要となる。さらに、令和3年度入学者から、各基準を満たすスコアの取得が必要となる。【保健学専攻（博士前期課程）学生の手引「学位請求に関する細則」参照】詳細は以下のとおり。

1. 英語外部試験の受験時期

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程入学日から、博士前期課程学位論文提出までの期間とする。

なお、学位論文の審査を願い出る際の提出期限は、1月第3週金曜日（当日が祭日の場合は前日）とする。ただし、9月期修了者については、7月第4週金曜日（当日が祭日の場合は前日）とする。

2. 英語外部試験の対象及び基準スコア

①又は②を受験し、各基準を満たすスコアを取得するものとする。

	試験の種類	基準スコア
①	TOEIC	410点
②	TOEIC-IP	410点

ただし、基準スコアを満たすことができない学生（大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例を適用されている者を除く。）は、以下のいずれかを満たすこととする。

- (1) 指導教員による英語課題等に合格すること。
- (2) ALC NetAcademy NEXT（いずれか1コース）を受講すること。

3. 受験免除者

①又は②に該当する者については、英語外部試験の受験を免除するものとする。

①提出日から2年以内のTOEIC 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点、IELTS 6.0以上のスコアを持つ者

②英語母語話者

ここでは、一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者をいう。

【英語を公用語とする国一覧】

アイルランド、アメリカ、アンティグア・バーブーダ、イギリス、イスラエル、インド、ウガンダ、エリトリア、オーストラリア、ガイアナ、ガーナ、カナダ、カメルーン、ガンビア、キリバス、クック諸島、グレナダ、ケニア、サモア、ザンビア、シエラレオネ、ジャマイカ、シンガポール、ジンバブエ、スーダン、スワジランド、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント・グレナディーン、セントルシア、ソマリランド、ソロモン諸島、タンザニア、ツバル、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、トンガ、ナイジェリア、ナウル、ナミビア、ニウエ、ニュージーランド、パキスタン、バヌアツ、バハマ、パプアニューギニア、パラオ、バルバドス、フィジー、フィリピン、ベリーズ、ボツワナ、マーシャル諸島、マラウイ、マルタ、ミクロネシア連邦、南アフリカ、南スーダン、モーリシャス、リベリア、ルワンダ、レソト

学修関係について

①【重要】保健学務係からの連絡事項について（掲示板）

保健学務係からの連絡事項は基本的に掲示板を通じて行います。

保健学専攻ではアカンサスポータル（後述）の「メッセージ」でも連絡事項を配信しています。アカンサスポータルは、研究室はもちろん職場・自宅のパソコン、スマートフォンでも確認することができますので、見落としのないようにこまめに確認してください。

保健学類1号館2階の掲示板にも同様のお知らせを掲示しています。

（奨学金等は掲示板に掲示してあります。）

②【重要】履修登録について

大学院博士前期課程を修了するには、学位論文を執筆することはもちろん、所定の単位を修得しなくてはなりません。そのためにはクォーターごとに、指定する期間内にインターネット（アカンサスポータル>学務情報サービス）を利用して履修する科目の登録が必要です。登録可能期間については別途掲示を必ず確認してください。

登録方法については、**学生便覧（Ⅳ 教育-2 授業科目の履修-3. 履修登録の手引）**を参照してください。

※ 各分野の開講する「課題研究」も含め開講される科目についてはすべて履修登録が必要です。

【重要】履修科目の登録後、単位認定を希望するすべての科目が登録されているか、履修登録状況を確認してください。訂正がある場合は、登録時と同様に期間内にアカンサスポータルから訂正してください。

③【重要】アカンサスポータルについて

本学ではICT教育の効果的な実践・活用をはかるため、ポータルサイト「アカンサスポータル (<https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/>)」を運用しています。

このポータルサイトはメッセージ機能、掲示板機能、LMS（学習管理システム）、よく使用するサイトのリンク等多彩な機能を有しています。特に「メッセージ」では履修や成績に関する事務連絡、修了や学位論文、奨学金、授業料免除申請等に関することなど重要な情報を配信しますので、こまめに確認するようにしてください（見落としによる不利益は救済されません）。

同サイトへアクセスするためのID（金沢大学ID）・パスワードはオリエンテーション時に配付します。アカンサスポータルの機能、使用方法等については、**学生便覧（Ⅲ 連絡・諸手続-3 アカンサスポータル）**を参照してください。

マニュアルはログイン後に閲覧できます。（ログイン→「ヘルプ」から参照してください。）

④学修案内

(1) 学年・学期

保健学専攻の1年は4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わります。

この期間を2学期に分け前期（4月1日～9月30日）、後期（10月1日～3月31日）としています。（さらに、前期前半を第1クォーター、前期後半を第2クォーター、後期前半を第3クォーター、後期後半を第4クォーターとしています。）

当該学期の授業開始日・行事日程等については年度初めに学年暦を掲示しますので、そちらで確認してください。実際の曜日とは異なる曜日の授業を開講する場合（曜日振替日）がありますので学年暦を参照してください。

(2) 授業時間帯

1 限	8 : 45～10 : 15
2 限	10 : 30～12 : 00
3 限	13 : 00～14 : 30
4 限	14 : 45～16 : 15
5 限	16 : 30～18 : 00

6 限 (14条特例適用者対象)	18 : 10～19 : 40
7 限 (14条特例適用者対象)	19 : 50～21 : 20

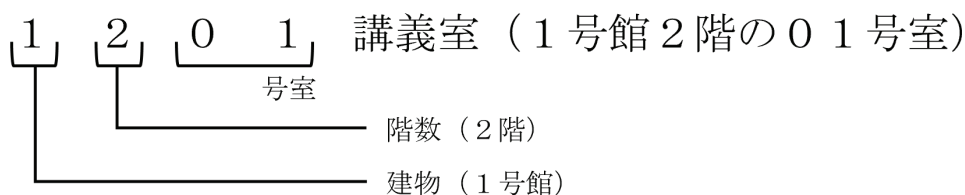
※6・7限の講義を受講する場合は、「14条特例適用」の申請が必要です。詳細は保健学務係まで

(3) 保健学専攻校舎について

保健学専攻の校舎は平日の20時～翌朝7時までの間、及び土日・祝日は玄関を施錠して部外者の入館を制限しています。

時間外に校舎に入構する場合は、学生証が入館カードキーとなりますので、読み取り機にかざして入構してください。

保健学専攻校舎は1号館～5号館、体育館、福利施設からなります（キャンパスマップを参照してください）。また、各講義室・研究室はそれぞれ4ケタの室番号がふられています。



⑤休学・退学について

休学（1か月以上の修学中止）または退学を希望する学生は、必ず主任指導教員に十分相談の上、所定の期日までに所定の用紙（保健学務係で配付）により届け出てください（病気の事由による場合は医師の診断書を添付してください）。提出期限については別途通知によりお知らせします。

⑥経済支援について

本学の経済支援制度については以下の Web サイトを参照してください。

金沢大学 Web サイト（トップページ＞教育・学生支援・学生活動＞経済的支援・各種奨学金）

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic>

（1）授業料免除について

経済的な理由によって授業料の納入が困難な学生で、かつ学業成績優秀と認められる学生には選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。

授業料免除に関する事項はすべて掲示（掲示板，アカンサスポータル「メッセージ」「掲示板」）でお知らせします。申請期間を過ぎたものは受付できませんので、掲示等見落としのないように注意してください。説明会，申請期間等スケジュールについても上記 Web サイトで確認できます。

（2）奨学金について

日本学生支援機構，都道府県・市町村，民間の育英団体のものなどがあります。

新たに日本学生支援機構奨学金を希望する学生は，上記 Web サイトを確認の上，所定の期間に申請してください。

（3）金沢大学独自奨学制度について

学生の学習・研究意欲を向上させるとともに，学生生活において国際交流・社会貢献に対する意欲を引き出すことを目的とした，金沢大学独自の給付型奨学金制度です。

学生生活関係について

①住所等の変更について

本人や父母等の住所・電話番号に変更があった場合は，すみやかにアカンサスポータルで変更手続きを行ってください。

また姓名に変更があった場合は，所定の手続きが必要になりますので保健学務係まで申し出てください。

有職者で「大学院設置基準第 14 条に基づく特例」の適用を受けている学生で，勤務先に変更があった際は保健学務係まで申し出てください。

②学内における駐車について

本キャンパスは駐車スペースが狭いため，自動車での通学は原則禁止されています。ただし，やむを得ない理由により自動車通学を希望する場合は所定の手続き（アカンサスポータルによる申請の後，**必要書類の提出が必要です**）により駐車許可を申請してください。申請期間等詳細については別途通知します。

駐車許可なく駐車した場合は厳重に処罰されます。

③学生生活に関する相談について

(1) 保健学専攻の学生相談室

保健学専攻では、1号館1階にある「なんでも相談室ーいいまっし」で学生生活一般に関する相談を受け付けています。相談員は、保健管理センターのカウンセラー（公認心理師）が担当します。（以下、スケジュールは予定です。変更があれば保健管理センターWebサイト <https://hsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/>でお知らせします。）

相談日時：火曜日 11時～15時（保健管理センター カウンセラー）
予約電話番号：(076)264-5255
E-mail：hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

なお、保健学専攻の教員に相談することを希望する場合は、直接教員に連絡してください。教員の連絡先等詳細は、金沢大学医薬保健学域保健学類 Web サイト（トップページ>在学生の皆さんへ>学生相談窓口>いいまっし（保健学類・なんでも相談室））で確認してください。

(2) ハラスメントについて

保健学専攻では、複数のハラスメント相談員がいます。被害にあった場合は、直接相談員に相談してください。

その他、保健管理センターにも学生相談室があります。詳しくは、金沢大学 Web サイト（トップページ>教育・学生支援・学生生活活動>学生相談窓口>学生生活ハンドブック『きいつけまっし』>心と身体の健康管理・悩み事>ハラスメント相談窓口）で確認してください。

(3) 保健管理センター宝町分室及び保健室について

① 保健管理センター宝町分室について

宝町・鶴間キャンパスの学生のために、医学類F棟1階（医学セミナー室前。キャンパスマップ参照）に保健管理センター宝町分室があります。疾病の応急処置や健康相談にも対応します。

（医師は不在の場合もありますので、相談する際は事前に連絡してください。）

なお、学業、人間関係など一人で行き詰ったら、カウンセリングの予約もできますので、気軽に利用してください。

【開室時間】13時～17時 看護師が常駐しています。
【医師の診察・健康相談受付時間】14時～16時30分（火・水・金）
*ただし、変更になる場合があります。
【場所】医薬保健学域医学類F棟1階（Tel (076)265-2133）

② 保健室について

保健学類1号館1階に保健室があります。短時間の休養や、救急箱の貸出を希望する場合は、保健学務係に連絡の上利用してください。なお、医師や看護師は常駐していませんので、処置を受けることはできません。

④学生証について

学生証は本学の学生であることを証明する『身分証明書』ですので、大切に取り扱いってください。

また、図書を借りるときや証明書自動発行機*を利用するときにも必要ですので常に携帯し、紛失しないでください。紛失・盗難にあった場合は、直ちに保健学務係まで申し出てください。再発行の場合は手数料 2,452 円が必要です。

その他、学生証には金沢大学生協で利用できる電子マネー機能、夜間・休日に建物に入構するための入館カードキーの機能が備え付けられています。

* 証明書自動発行機は保健学類 1 号館正面玄関に設置されています。学生証を使用して、JR 学割証、在学証明書等各種証明書を発行することができます。

ネットワーク関係について

① インターネット，電子メールの利用

各自で「KAINS ID」の登録が必要です。これを取得することで、金沢大学の全てのネットワーク関連サービスが受けられます。例えば、金沢大学キャンパス内でインターネット、無線 LAN を利用する際は KAINS ID による認証が必要です。またメールアドレス (XX@stu.kanazawa-u.ac.jp) も取得できます。

詳細は、**学生便覧(Ⅲ 連絡・諸手続-4 インターネット及び電子メールの利用)**を参照してください。

②VPN の設定

学術メディア創成センターの提供する VPN サービスを利用することにより、学外からでも学内と同じ環境で金沢大学のネットワークが利用できます (前述の KAINS ID が必要です)。

VPN サービスを利用することにより、学内限定で公開されている Web サイトや、**附属図書館の提供する電子ジャーナル、論文検索データベース (一部不可の物もあり) の利用が学外からでも可能になります。**

詳細は、<https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/kains-vpn/>を参照してください。電子ジャーナル等の利用方法は後述の「図書室利用案内」も参照してください。

③マイクロソフト包括ライセンスについて

本学は日本マイクロソフト株式会社と EES (教育機関向け総合契約) を締結しています。これにより本学に在籍するすべての学生は、マイクロソフト社の Microsoft 365 製品を無料で利用できます。

制度の詳細や利用方法については、<https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/mslicense/>を参照してください。

【保健学類図書室（保健学類3号館1階） 利用案内】

（1）基本的な開室時間

曜日	授業期間中	休業期間中
月～金	8：45～22：00	※8：45～17：00
土	※10：00～17：00	—

※平日 20 時以降及び土曜日は 3 号館入館のために学生証が必要です。

（2）休室日

- ① 日曜日、国民の祝日（休業期間中は土曜日も休室）
- ② 12月28日～翌年1月3日
- ③ 夏季一斉休業日
- ④ 鶴間キャンパスで開催される入学試験実施日及びその前日

詳細な開室日は図書館 Web サイト (<https://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/>) の開館カレンダーをご覧ください。臨時休室日は、その都度ご案内します。

（3）図書室利用心得

- ① 室内では静粛にし、私語は慎んでください。
- ② 図書室内ではフタの閉まる容器に入った飲み物を除いて、飲食を禁止しています。
- ③ 図書・雑誌等の図書資料は自由に閲覧できる開架方式です。閲覧後の資料は必ず元の位置に戻してください。

（4）蔵書冊数および雑誌種類数

（令和5年3月末現在）

区分	図書	雑誌
和	34,153冊	717種
洋	8,283冊	250種
計	42,436冊	967種

* 消耗品図書は上記表に含まれていません。

（5）貸出と返却

- ① 学生証が「図書館利用券」となりますので、必ず持参してください。
- ② 図書、製本雑誌（バーコード貼付）の貸出は、学生証を使って自動貸出返却機で手続きしてください。返却もできます。（返却には、学生証はいりません。）
- ③ 未製本雑誌、バーコードのない図書、付録付き資料、視聴覚資料の貸出は、係員がいたします。貸出には学生証の提示が必要です。返却はカウンターに図書等をご持参ください。
- ④ 返却期限を過ぎても図書を返却されない場合、遅れた日数分（最長1ヶ月）貸出停止期間となります。

- ⑤ 閉室時の返却は、ブックポストをご利用ください。
- ⑥ 借用資料（図書・未製本雑誌・製本雑誌等）の破損・汚損・紛失は、弁償の対象になりますので丁寧にご利用ください。
- ⑦ 視聴覚資料については、室内でも視聴することができます。係員に尋ねてください。

(6) 貸出冊数と貸出期間

区 分	一般図書	製本雑誌	参考図書	未製本雑誌	視聴覚資料
冊 数	6 点	3 点	—	3 点	3 点
期 間	2 週間※	1 週間	室内のみ	翌日返却	1 週間※

※更新（延長）は1回まで

(7) 図書室内での複写機の利用について

図書・雑誌の記事については、著作権の遵守が求められていますので、「文献複写申込書」に複写される図書の書名及び雑誌名等を記入してから複写してください。複写機の利用には、生協販売のコピーカードが必要です。

(8) 他大学の図書館利用について

紹介状や事前の照会が必要な場合があります。カウンターまでお問い合わせください。

(9) AV コーナーについて

図書室備付の視聴覚資料を AV コーナーで視聴することができます。利用する際はカウンターで手続きをしてください。

(10) グループ学習室について

図書室資料を使った小グループの研究・学習のための部屋です。利用する際はカウンターで予約手続きをしてください。

(11) Web サイト

Web サイトから、学習・研究に必要な電子ジャーナルやデータベースを利用できます。

<https://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/>

① OPAC plus 検索（金沢大学の蔵書、電子ジャーナル、電子ブックを検索）

タイトル、ISBN 等から金沢大学で所蔵している図書、雑誌、視聴覚資料等を検索できます。検索結果画面で、所在および請求記号を確認してください。図書室資料の場合、所在表示は「保健図書室」または「保健図雑誌」となっています。保健看護、保健放射などは研究室を表します。検索の結果、図書室の図書が貸出中のときは、返却後に優先的に借用できるように、予約することができます。

電子ジャーナル、電子ブックは検索結果からサイトへリンクされます。

② 電子ジャーナルリスト検索

金沢大学では、多くの電子ジャーナルを契約しており、学内ネットワークに接続することにより利用可能です。検索結果から電子ジャーナルのサイトへリンクされますので、巻号等で目的の論文を絞り込んでください。

③ データベース検索（学術雑誌に掲載された論文の検索）

学内ネットワークに接続後、文献検索データベース「医中誌 Web」「PubMed」「CINAHL」「SCOPUS」等を使って、学術論文を検索できます。

④ オンラインサービス（学外からも利用できます）

図書館 Web サイトの「オンラインサービス」からログインすると、以下のサービスが利用できます。（金沢大学 ID が必要です）

1) 「ILL 文献複写・図書貸借申込」

学外(他大学など)および他キャンパスにある雑誌等の複写物の取寄せや、図書の現物借用の申込ができます。

複写取寄せでは、複写料（学内の場合20円/枚（モノクロ）、学外の場合およそ35～50円/枚（モノクロ））と送料を負担いただきます。

図書の現物借用は、学内の場合は無料ですが、学外の場合は往復の送料を負担いただきます。

2) 「貸出予約状況確認」

借りている資料の返却期限日を確認できます。図書の貸出更新（延長）手続もここからできます。

3) 「図書リクエスト」

図書室に置いてほしい本のリクエストができます。学習・研究支援のために購入しますが、既に学内の図書室以外の場所にある場合は、1)の「ILL 文献複写・図書貸借申込」から借用申込をしてください。

（12）その他

① 学術論文の入手まで

論文の収録誌が不明な場合は、データベースを使って、収録雑誌名、巻号(Vol. No.)、ページを調べます。保健学分野では、国内雑誌の論文なら医中誌 Web や CiNii、海外雑誌の論文なら PubMed や CINAHL（看護学分野）がよく使われます。

収録誌が分かったら OPAC plus 検索で電子ジャーナルか、雑誌の所蔵を探します。雑誌(冊子)の場合は目的の巻号の有無と所在場所を確認してください。

目的の雑誌が角間地区などの直接利用できない場所にあったり、金沢大学に所蔵されていない場合は、文献複写申込をして論文のコピーを取寄せることができます。(11)④のオンラインサービスを参照ください。

② 電子ジャーナル，データベースの学外（自宅など）からの利用について

金沢大学が契約している電子ジャーナル，データベースは，通常，学内のネットワークに接続することにより利用できるようになっています。社会人院生の方など，学外からの利用を希望される場合は，以下のサイトで紹介している方法をお試してください。

https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=18287#out_campus

③ 無償公開されている論文について

近年，インターネット上に無償で公開される論文が多くなってきています。国内の場合，多くは大学の発行する紀要（誌名に大学名を含むことが多いです）とよばれる雑誌の論文です。

以下のサイトではそれらの中から論文をまとめて検索することができます。本学の電子ジャーナルリストに含まれていない雑誌の論文が入手できることがあります。

学術機関リポジトリデータベース（IRDB） <https://irdb.nii.ac.jp/>

④ データベース検索からの電子ジャーナル利用について

データベースで論文を検索すると，下図のようなバナーが表示されることがあります。これらをクリックすると，電子ジャーナルリスト検索や OPAC 検索をすることなく，簡単に PDF で論文を読めることが多く便利です。（金沢大学で契約している電子ジャーナルの論文や無償公開されている論文の場合）

（例） バナー画像のデザインは変更されていることもあります。

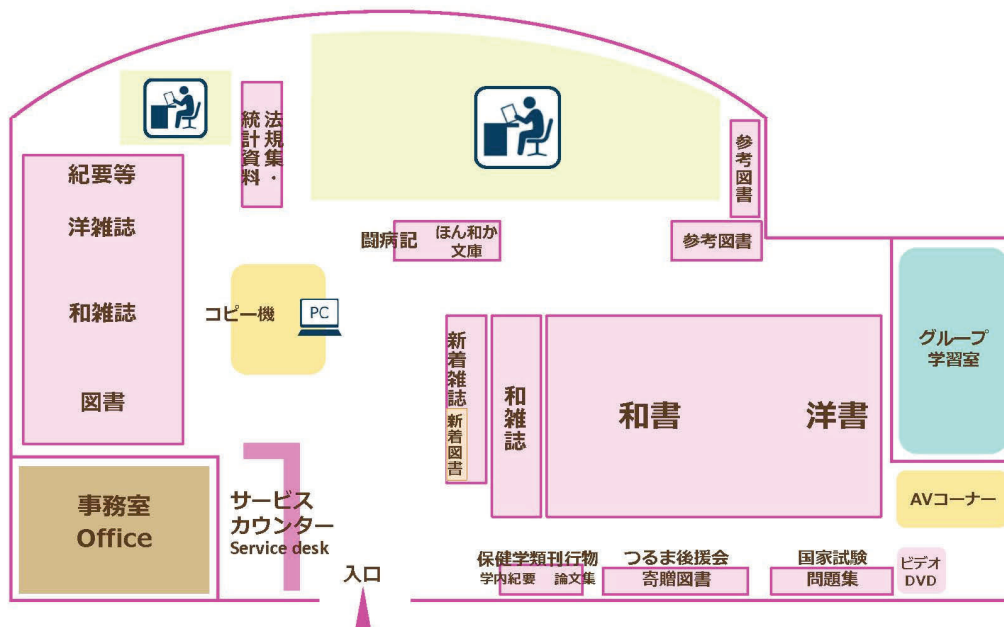
医中誌 Web では



PubMed では



保健学類図書室 フロアマップ



保健学類図書室は3号館1階にあります。

保健学類図書室 電話番号：076-265-2518

E-mail：htosho@adm.kanazawa-u.ac.jp

【医学図書館 利用案内】

(1) 開館時間

平日（月～金曜）	8：30～22：00
土曜	10：00～16：00(17:00)※

※閉館時間は月によって異なります。

医学図書館 Web サイトにある開館スケジュールで確認してください。

医学図書館 Web サイト <https://library.kanazawa-u.ac.jp/mlib/>

(2) 休館日

- ① 日曜日、国民の祝日（ただし、定期試験期間は除く）
- ② 12月28日～1月3日
- ③ 夏季一斉休業日

その他必要のある場合は、臨時に開館・閉館することがあります。

(3) 利用できる資料

主に医学系図書、参考図書（辞典など）、視聴覚資料、雑誌が配架されています。図書は、請求記号順、雑誌は、ABC 順に配架されています。

・配架場所は次のとおりです。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 1階（閲覧エリア） | 医学系図書、新着雑誌、参考図書（辞典など）、視聴覚資料(DVD) |
| 3階（書庫） | 利用頻度の低い図書、雑誌 |
| 4階（書庫） | 雑誌 |

(4) 貸出冊数と貸出期間

区分	一般図書	製本雑誌	未製本雑誌	基本書・参考図書	視聴覚資料
冊数	5点	6点	3点	—	2点
期間	2週間※	1週間	翌日返却	館内のみ	1週間※

※更新（延長）は1回まで

貸出返却の手続きは、保健学類図書室と同様です。

閉館時返却用のブックポストはE棟側入口付近に設置してあります。

(5) 視聴覚ブース（1階）

図書館備付の視聴覚資料を視聴することができます。

(6) 複写機の利用について

1階サービスカウンター前にセルフサービスのコイン式とプリペイドカード式（カードは金大生協にて販売）のコピー機があります。

保健学類図書室と同様に「文献複写申込書」を記入してから複写してください。

(7) 閲覧エリア（1階）

閲覧席 24 席とカウンター席 18 席があります。無線 LAN も利用できます。

(8) ラーニング・commons（1階、2階）

1階にはブックラウンジがあり、事前に予約すれば、イベントにも使用できます。

また、ここには、新聞、テレビ、自販機が置いてあります。

2階には、以下のオープンスタジオ、グループスタジオ、十全記念スタジオがあります。

【オープンスタジオ】

以下の設備があり、無線 LAN も利用できます。

- ・パソコン（シンクライアント）7 台
- ・自由に組み合わせ可能なテーブルと椅子（46 席）、ホワイトボードやプロジェクターがあります。

【グループスタジオ】※要予約（(9) 施設のネット予約参照）

- ・4 部屋とも 8 席用で、自由に組み合わせができるテーブルがあります。

【十全記念スタジオ】

- ・2 人用テーブルと椅子（54 席）があります。
- ・講習会、講演会などのイベントで使用したいときは、事前に申し込む必要があります。詳細は医学図書館職員にお問い合わせください。

(9) 施設のネット予約

1階に研究個室が 4 部屋、2階にグループスタジオが 4 部屋あります。

図書館 Web サイトにある「図書館オンラインサービス」にログインし、事前に予約のうえご利用ください（要金沢大学 ID）。

(10) 自習室（2階）

E 棟 2 階の連絡通路（または E 棟側 1 階入口から入ってすぐの階段を上る）から入ると個人用のキャレールが 48 席ある自習室があります。

※オープンスタジオのある 2 階からは、自習室に行くことはできません。

(11) 利用上の注意

①館内では喫煙，携帯電話での通話は禁止です。

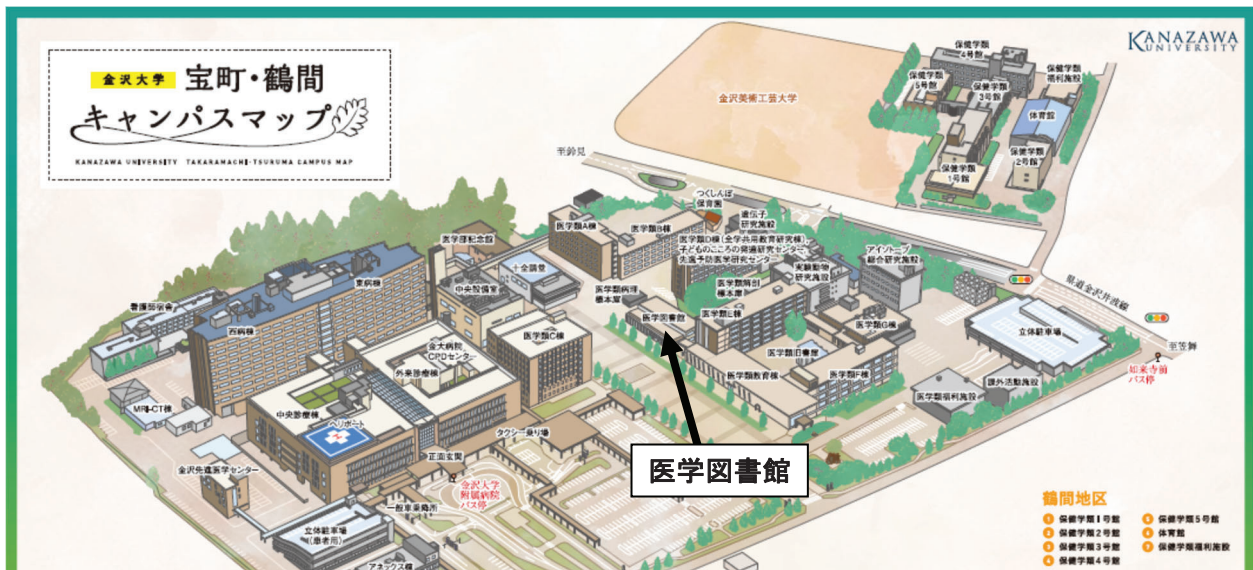
※2階オープンスタジオ奥に携帯電話専用ブースがありますので，ご利用ください。

②館内では食事はできません。

ペットボトルなどフタの閉まる容器の飲み物のみ持ち込みができます。

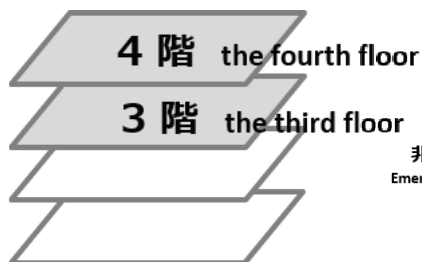
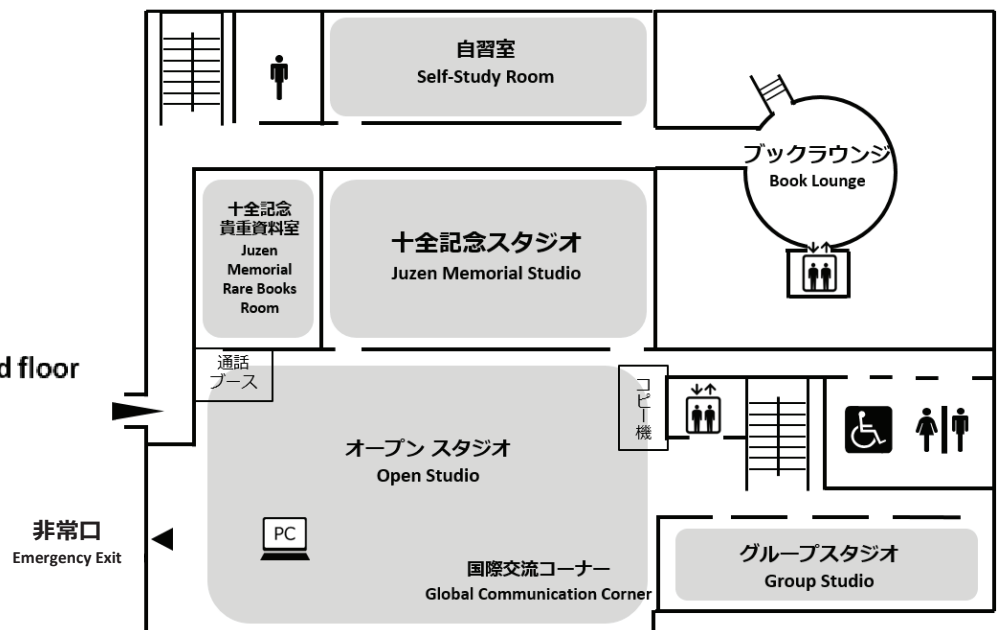
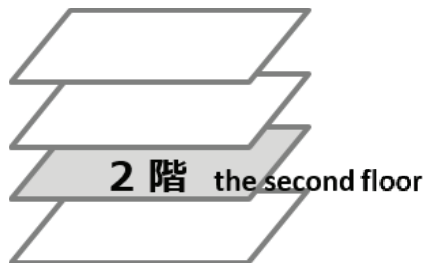
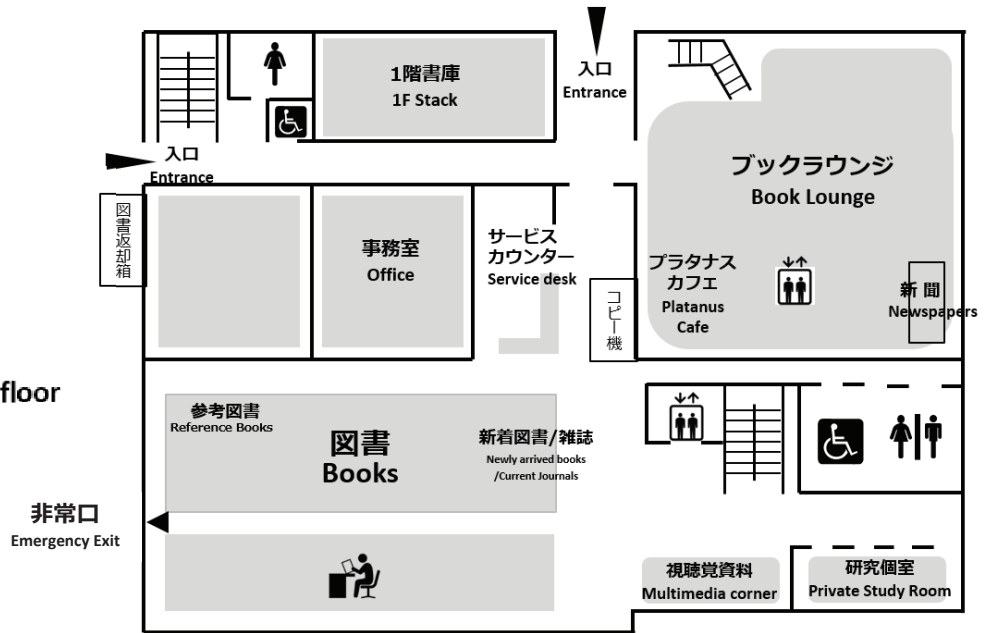
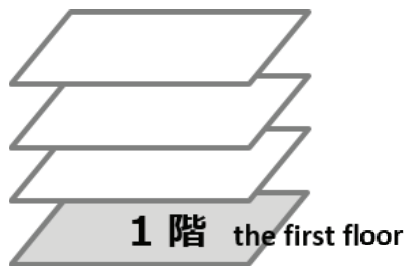
※ただし1階ブックラウンジのみ飲食可能です。

③貴重品などは，常に身につけておくようにしてください。



医学図書館 電話番号：076-265-2141

医学図書館 フロアマップ



北信のシームレスながん医療を担う人材養成について

1. 次世代北信がんプロの概要

長野、富山、石川、福井の4県は、超少子高齢化に加え診断から治療・終末期医療まで全医療を居住地域で受けるがん患者が多い特徴があります。本事業（次世代北信がんプロ）は、診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を地域でシームレスに行う多施設・多職種と連携した医療人材の養成を行います。連携6大学の強みを合わせた相互補完的教育コース（正規課程15、インテンシブ10）を新設し、がん医療提供に必要な専門分野以外のがん医療分野の最新情報を学修できます。がん予防、病理診断、放射線・核医学治療、在宅緩和ケア、小児・AYA世代がん経験者を支援する遺伝カウンセラーや腫瘍臨床心理士、新規免疫療法開発や個別化医療に必要なゲノム創薬・副作用対策を担う人材を養成します。オンライン教育を取り入れた演習・講演会で多職種における地域内の連携を推進し、将来さらに少子高齢化が進む日本の地域がん医療の人材養成モデルの確立を目指しています。

2. 教育コース

大学院医薬保健学総合研究科規程第10条第3項～第5項に定める、保健学専攻（博士前期課程）に、

👉 北信のシームレスながん医療を担う人材養成包括的な放射線診療を見据えた医学物理士コース

👉 北信のシームレスながん医療を担う人材養成細胞検査士資格取得コース

👉 北信のシームレスながん医療を担う人材養成サイコオンコロジストコース

の3コースを置きます。

各コースに関する授業科目及び単位数は別表第7の3～第7の5のとおりです。

別表第7の3 北信のシームレスながん医療を担う人材養成包括的な放射線診療を見据えた医学物理士コースにおける授業科目及び単位数

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考
		必修	選択	
基礎科目	医学物理学特論	1		
	放射線治療安全技術学特論	2		
	放射線治療安全技術学演習	4		
	臨地マネジメント演習	4		
専門科目	放射線医療特論	1		
	サイコオンコロジー特論	1		
	がん医療現場の課題特論		1	いずれかから 1科目1単位以上
	がん予防推進特論		1	
	新規治療法開発特論		1	

注：上記開講科目のうち必修の基礎科目から4科目11単位、専門科目2科目2単位、及び専門科目から1科目1単位以上を履修することとし、合計14単位以上の修得が必要。

別表第 7 の 4 北信のシームレスながん医療を担う人材養成細胞検査士資格取得コースにおける授業科目及び単位数

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考
		必修	選択	
基礎科目	腫瘍分子生物学特論	2		
	臨地マネージメント病理演習	4		
	細胞診断学演習	4		
	腫瘍分子生物学演習	4		
専門科目	サイコオンコロジー特論	1		
	次世代がんプロオンコロジーセミナー	1		
	新規治療法開発特論		1	
	コンサルテーション論		2	
	がん医療現場の課題特論		1	
	がん予防推進特論		1	
	医療統計学特論		2	

注: 上記開講科目のうち必修の基礎科目から 4 科目 14 単位, 専門科目から 2 科目 2 単位, 及び専門科目から選択科目 2 科目 3 単位以上を履修することとし, 合計 19 単位以上の修得が必要。

別表第 7 の 5 北信のシームレスながん医療を担う人材養成サイコオンコロジストコースにおける授業科目及び単位数

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考
		必修	選択	
基礎科目	コンサルテーション論		2	
	医療統計学特論		2	
	がん緩和医療学特論		1	
	腫瘍薬物学特論		1	
	腫瘍放射線医学特論		1	
	がん医療現場の課題特論		1	
	がん予防推進特論		1	
	新規治療法開発特論		1	
専門科目	サイコオンコロジー特論	1		
	看護心理学特論	2		
	次世代がんプロセミナー	2		
	精神看護学特論		2	
	慢性・終末期看護技術学特論		2	
	小児環境発達学特論		2	
	臨地マネージメント演習		4	

注: 上記開講科目のうち専門科目から必修 5 単位, 基礎科目及び専門科目から 7 単位以上を履修することとし, 合計 12 単位以上の修得が必要。

3. 受講の流れ ※受講にあたっては、必ず主任指導教員の了解を得てください

① コースを選択

「包括的な放射線診療を見据えた医学物理士コース」、「細胞検査士資格取得コース」、「サイコオンコロジーコース」から希望するコースを選択してください。

② コース履修申込

以下 URL の Google フォームから必要事項を記入して履修申込を行ってください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSer8og94x115uLr6oSqVf6EHykezC6fi55qSzWx-TK4-AF-DQ/viewform>

③ 科目を選択し履修登録

別表第 7 の 3～第 7 の 5 を確認の上、科目を選択し受講してください。

なお、受講にあたり、履修登録期間内に履修登録を行い、履修届を保健学務係に提出してください。履修登録期間は各学期開始時にお知らせします。

④ 受講

履修科目が E-learning 講義の場合、1 科目に対して、複数の講義(E-learning)と 1 回の演習(セミナー)受講により単位認定されます。履修する科目の E-learning をすべて受講してください。E-learning 受講に必要なアカウントは次世代北信がんプロ事務局から発行されます。

セミナーはメール及び次世代がんプロ Web サイトで案内します。セミナー参加時に単位認定申請を行い、参加報告書を次世代がんプロ事務局に送付してください。

⑤ 資格認定申請書を提出

次世代北信がんプロの各コースを修了したことで優れたがん医療の担い手であることを認定します。別表第 7 の 3～第 7 の 5 で指定する各コースの必要単位を修得後、認定証を希望する場合は資格認定申込書を保健学務係に提出してください。

保健学務係より、NPO 法人北信がんプロ認定機構に申請します。

詳細は次世代がんプロ Web サイトを確認してください。

○次世代がんプロ Web サイト <https://gan-pro.net/>

次世代北信がんプロ事務局

〒920-8640 石川県金沢市宝町 13-1 金沢大学医学類 F 棟 1 階

TEL:076-265-2888 FAX:076-234-4208

北信のシームレスながん医療を担う人材養成

履 修 届

コ ー ス 名: 包括的な放射線診療を見据えた医学物理士コース

領 域 名: _____

教育研究分野名: _____

氏 名: _____

学 籍 番 号: _____

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考	履修科目に✓
		必修	選択		
基礎科目	医学物理学特論#	1			
	放射線治療安全技術学特論	2			
	放射線治療安全技術学演習	4			
	臨地マネジメント演習	4			
専門科目	放射線医療特論#	1			
	サイコオンコロジー特論	1			
	がん医療現場の課題特論# *		1	いずれかから 1科目1単位以上	
	がん予防推進特論# *		1		
	新規治療法開発特論# *		1		

注: 上記開講科目のうち必修の基礎科目から 4 科目 11 単位, 専門科目 2 科目 2 単位, 及び専門科目から 1 科目 1 単位以上を履修することとし, 合計 14 単位以上の修得が必要。

#の科目は E-learning 科目です。

*の科目は保健学務係が履修登録を行います。

本票は、履修登録期間内に保健学務係へ提出してください。
受講にあたっては、必ず主任指導教員の了解を得てください。

北信のシームレスながん医療を担う人材養成

履 修 届

コ ー ス 名: 細胞検査士資格取得コース

領 域 名: _____

教育研究分野名: _____

氏 名: _____

学 籍 番 号: _____

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考	履修科目に✓
		必修	選択		
基礎科目	腫瘍分子生物学特論	2			
	臨地マネージメント病理演習	4			
	細胞診断学演習	4			
	腫瘍分子生物学演習	4			
専門科目	サイコオンコロジー特論	1			
	次世代がんプロオンコロジーセミナー*	1			
	新規治療法開発特論#*		1		
	コンサルテーション論#*		2		
	がん医療現場の課題特論#*		1		
	がん予防推進特論#*		1		
	医療統計学特論		2		

注:上記開講科目のうち必修の基礎科目から4科目14単位, 専門科目から2科目2単位, 及び専門科目から選択科目2科目3単位以上を履修することとし, 合計19単位以上の修得が必要。

#の科目はE-learning科目です。

*の科目は保健学務係が履修登録を行います。

**本票は, 履修登録期間内に保健学務係へ提出してください。
受講にあたっては, 必ず主任指導教員の了解を得てください。**

北信のシームレスながん医療を担う人材養成

履 修 届

コ ー ス 名: サイコオンコロジストコース
領 域 名: _____
教育研究分野名: _____
氏 名: _____
学 籍 番 号: _____

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考	履修科目に✓
		必修	選択		
基礎科目	コンサルテーション論#*		2		
	医療統計学特論		2		
	がん緩和医療学特論#*		1		
	腫瘍薬物学特論#*		1		
	腫瘍放射線医学特論#*		1		
	がん医療現場の課題特論#*		1		
	がん予防推進特論#*		1		
	新規治療法開発特論#*		1		
専門科目	サイコオンコロジー特論	1			
	看護心理学特論	2			
	次世代がんプロセミナー*	2			
	精神看護学特論		2		
	慢性・終末期看護技術学特論		2		
	小児環境発達学特論		2		
	臨地マネージメント演習		4		

注: 上記開講科目のうち専門科目から必修5単位, 基礎科目及び専門科目から7単位以上を履修することとし, 合計12単位以上の修得が必要。

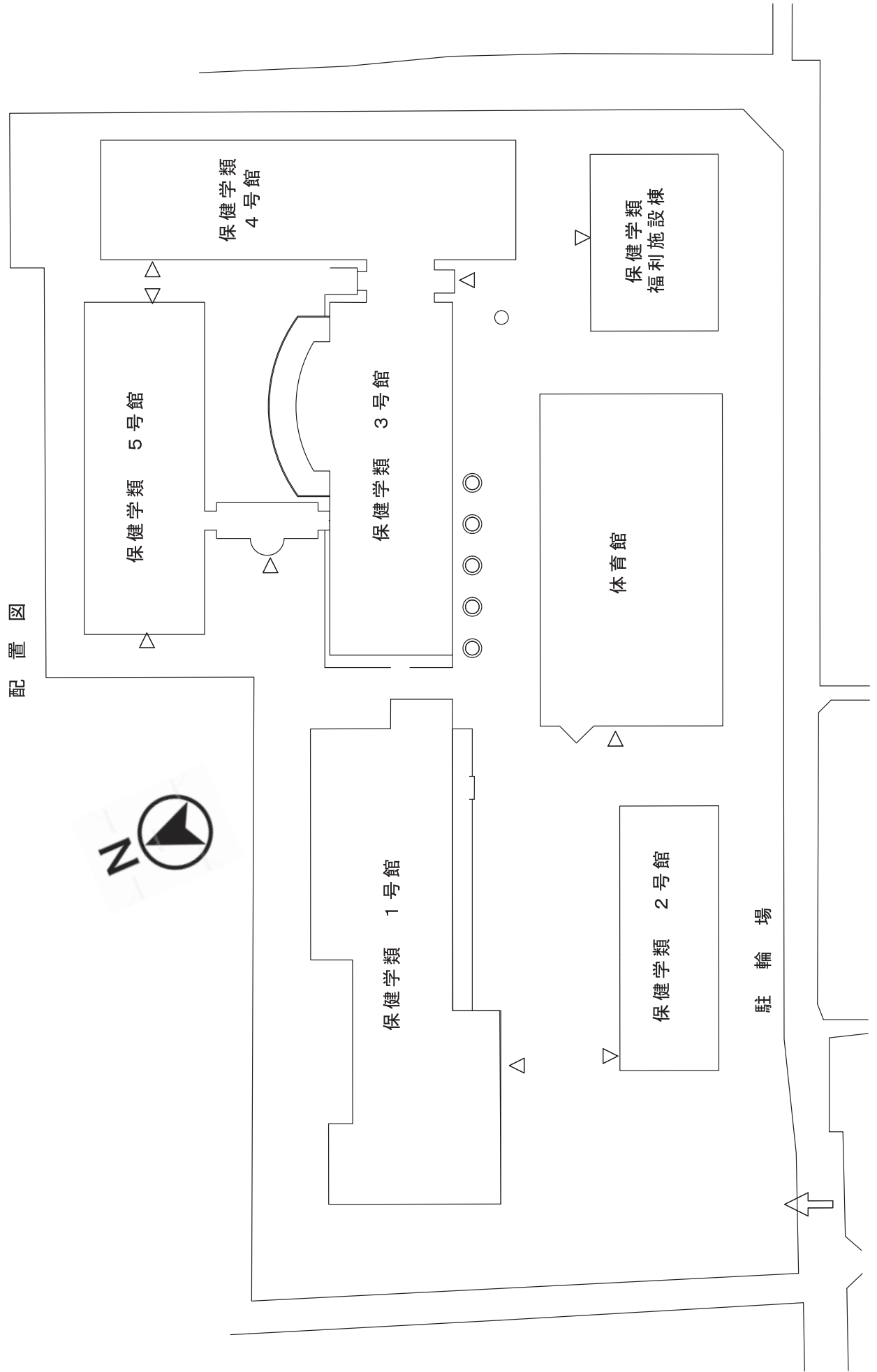
#の科目はE-learning科目です。

*の科目は保健学務係が履修登録を行います。

本票は, 履修登録期間内に保健学務係へ提出してください。
受講にあたっては, 必ず主任指導教員の了解を得てください。

金沢大学医薬保健学域保健学類校舎

配置図



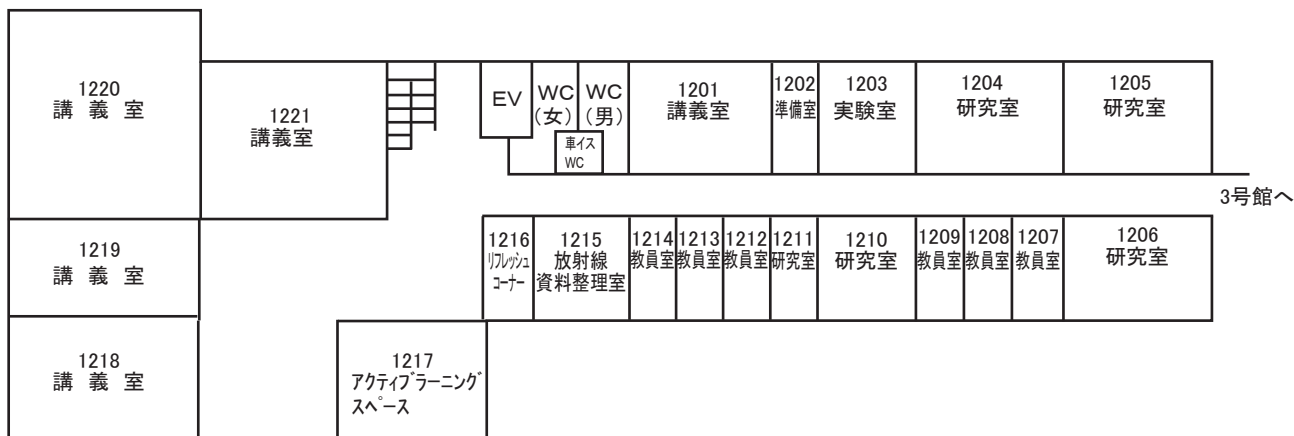
保健学類 1号館 平面図(1~3階)

3階

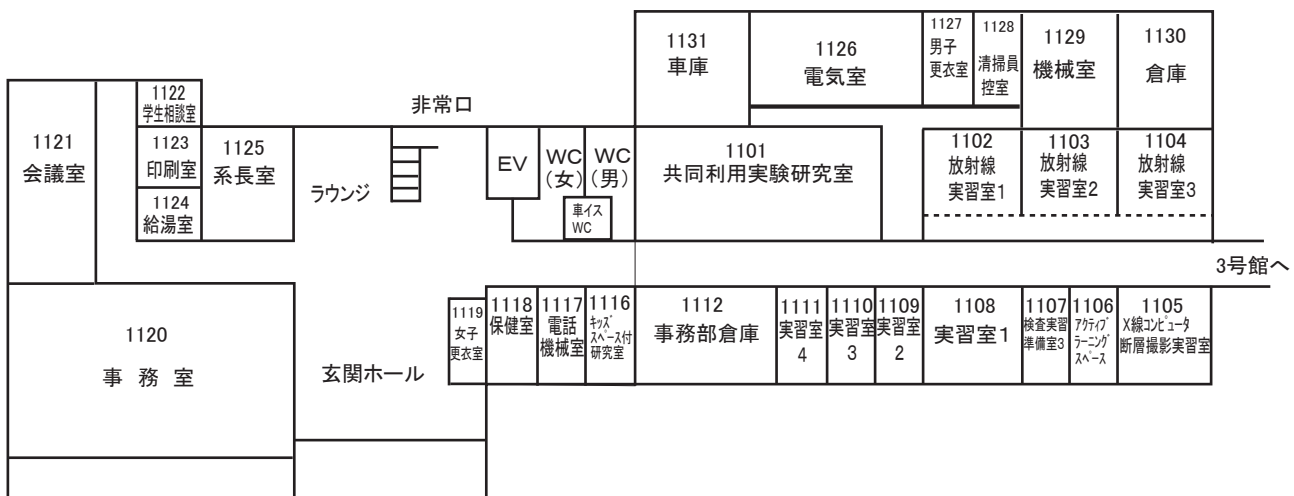


2階

非常口



1階

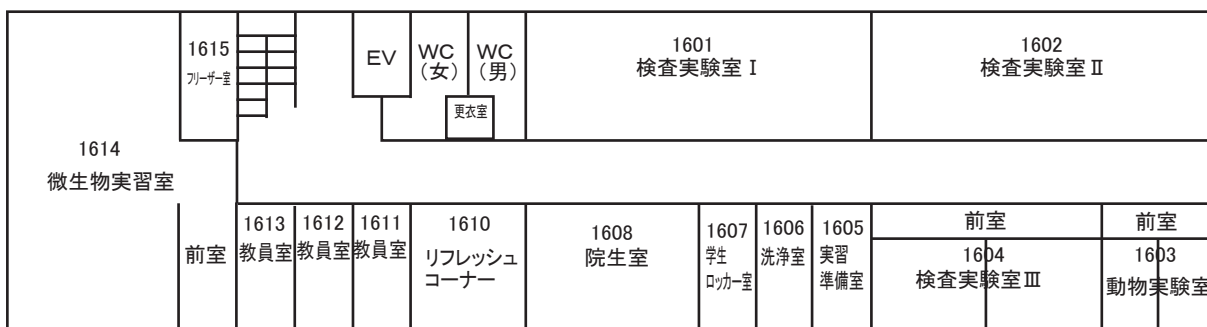


保健学類 1号館 平面図(4~7階)

7階



6階



非常口

5階



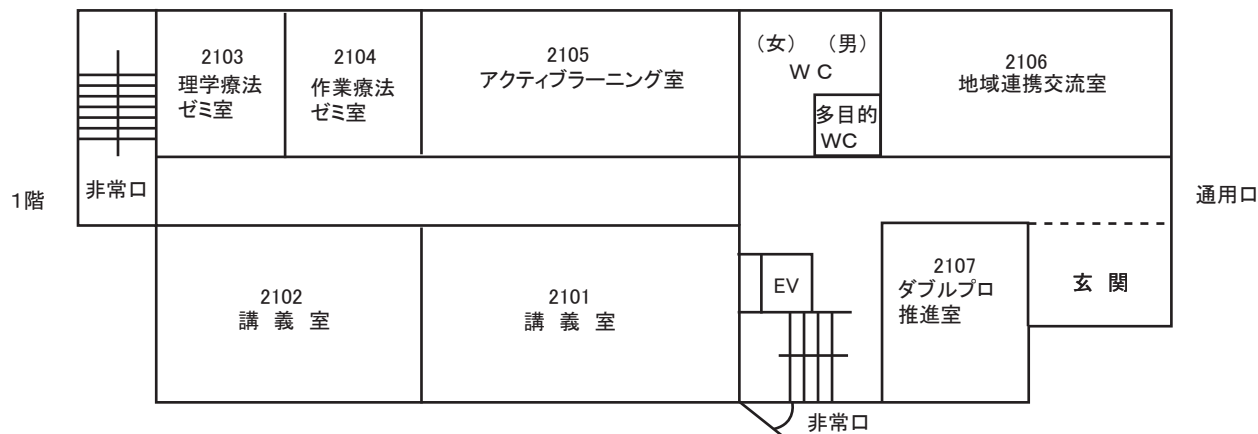
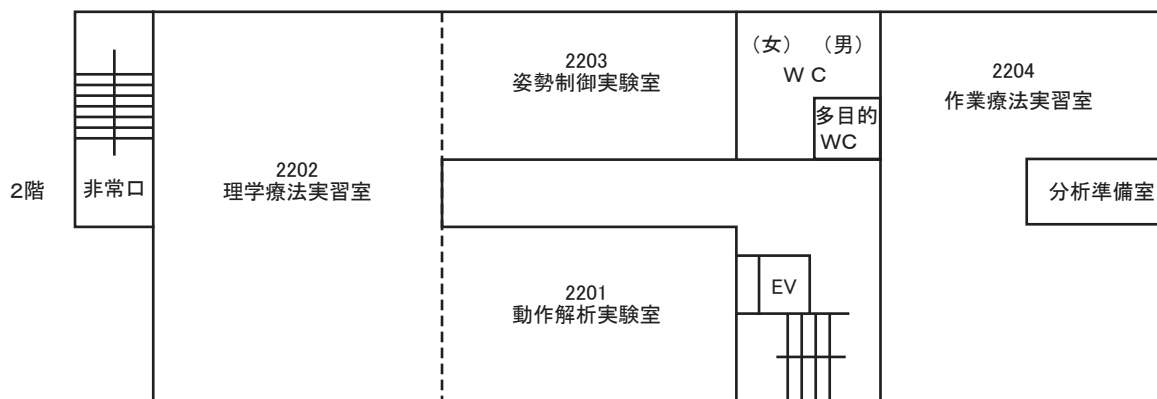
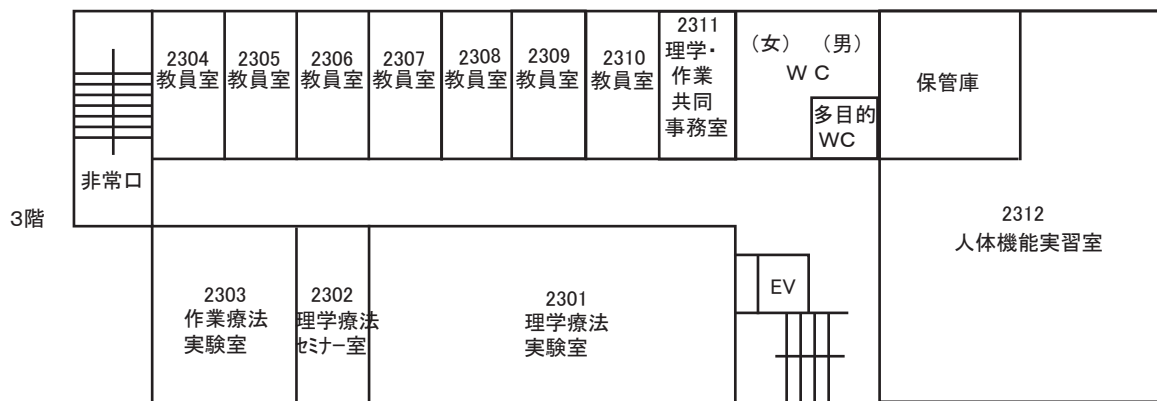
非常口

4階

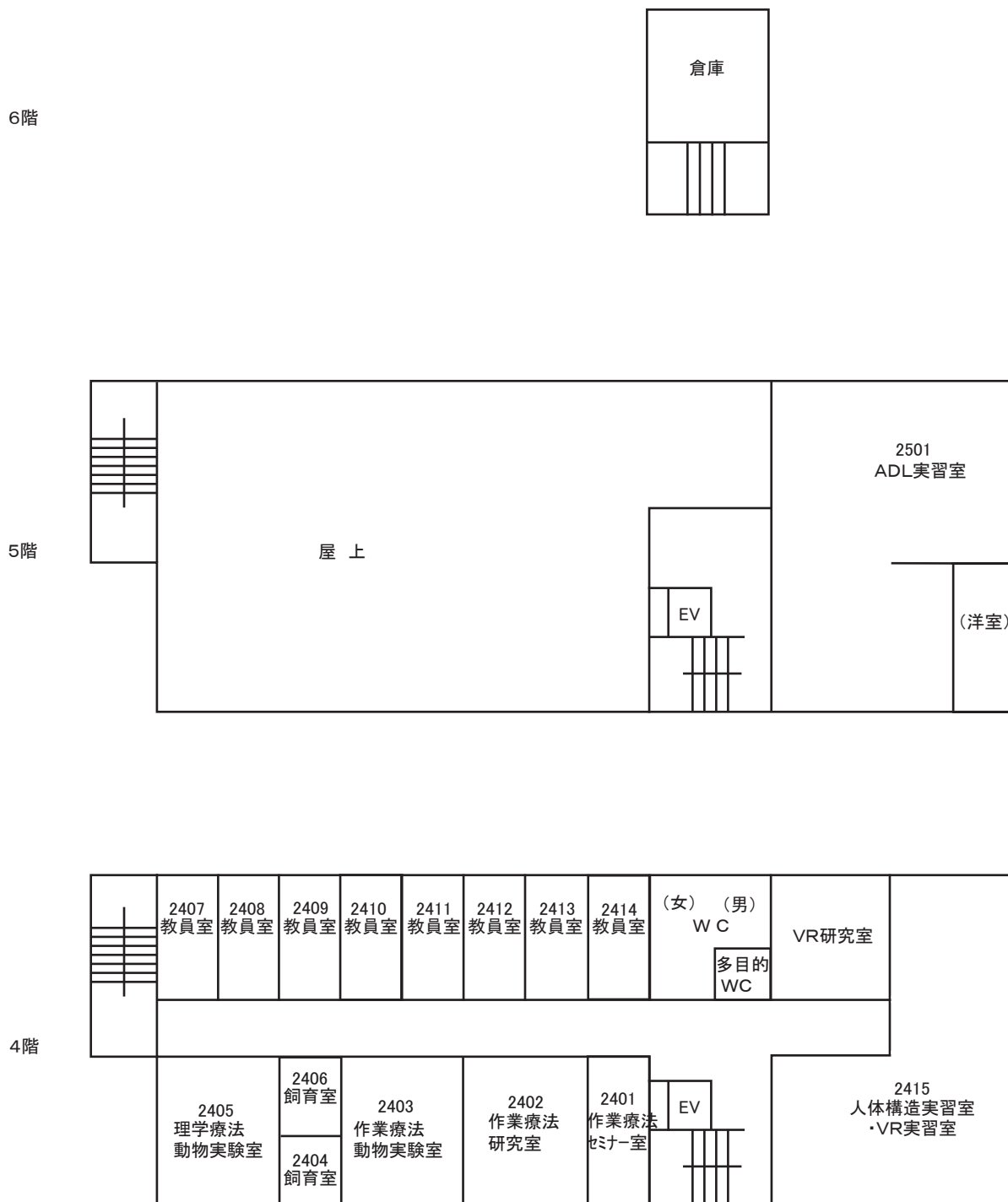


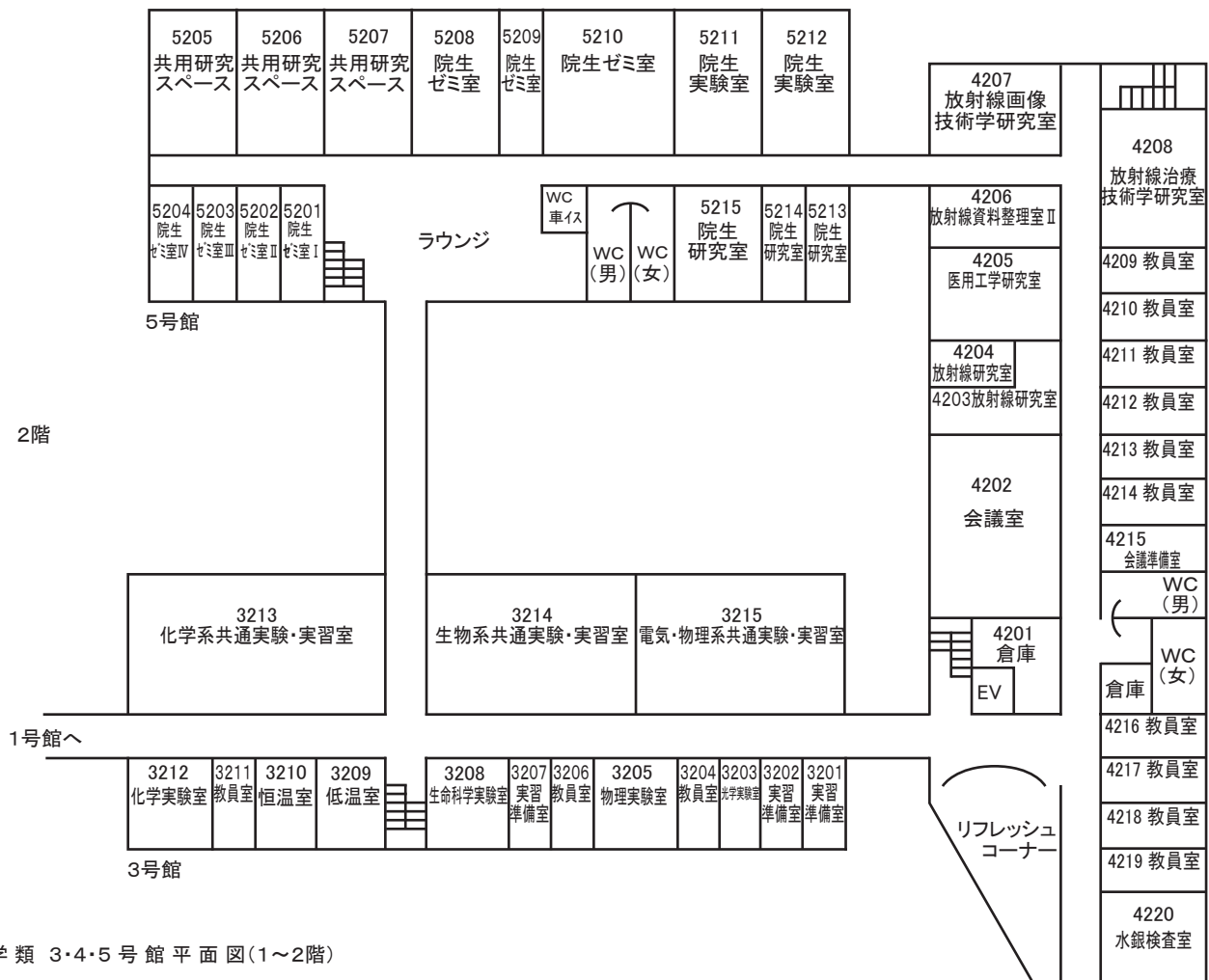
非常口

保健学類 2号館 平面図(1~3階)

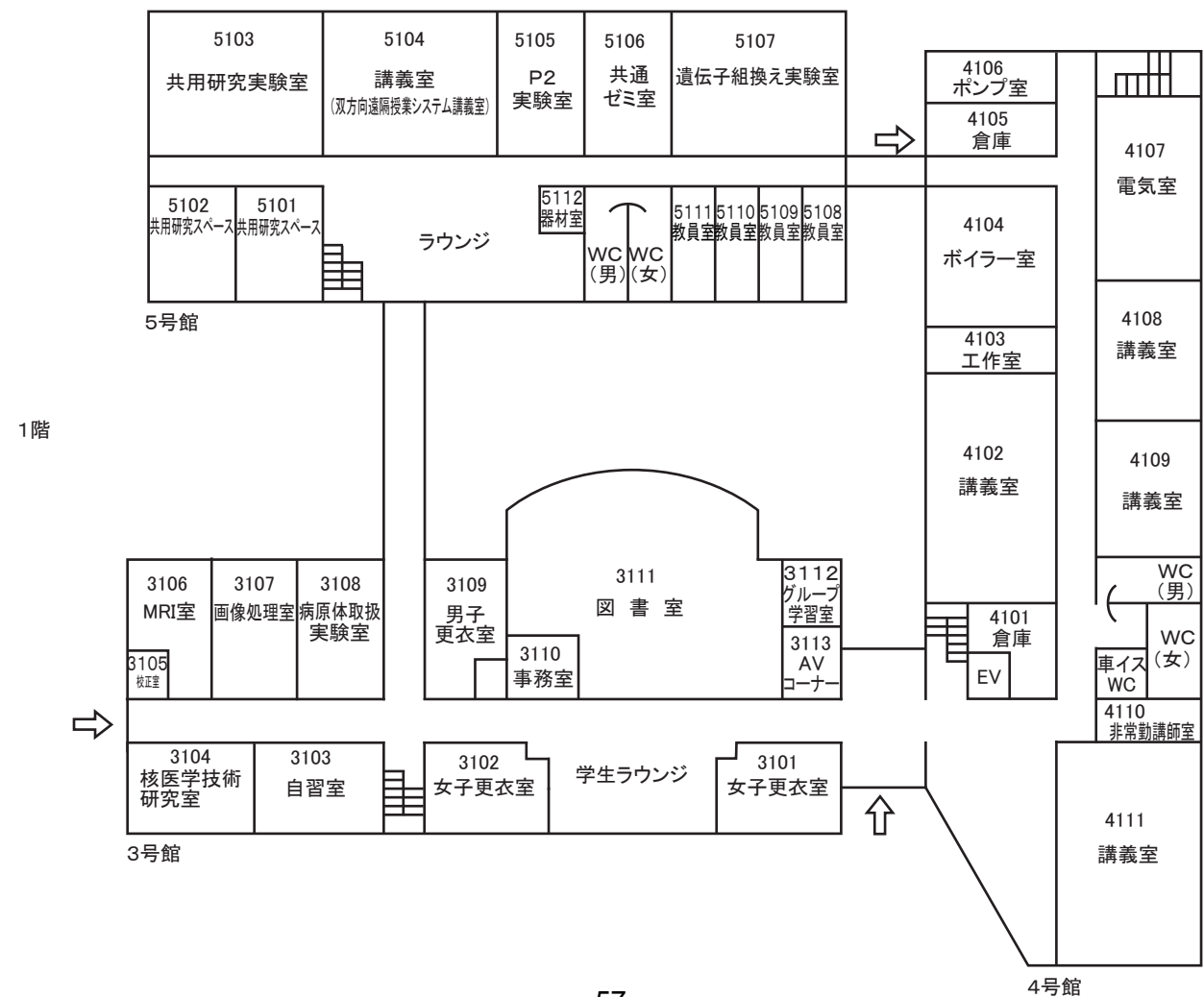


保健学類 2号館 平面図(4~6階)



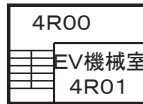


保健学類 3・4・5号館平面図(1~2階)

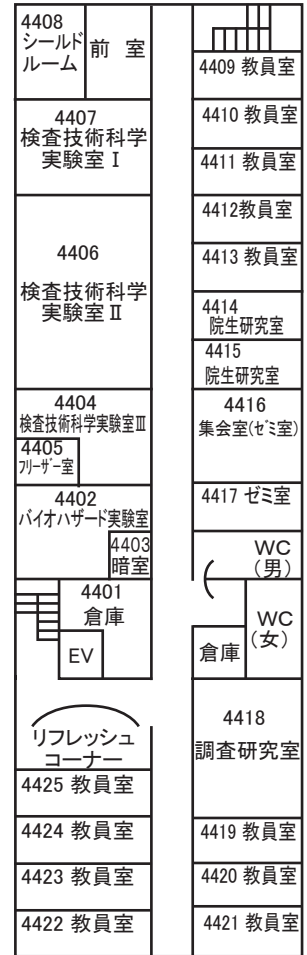


保健学類 3・4・5号館平面図(3~5階)

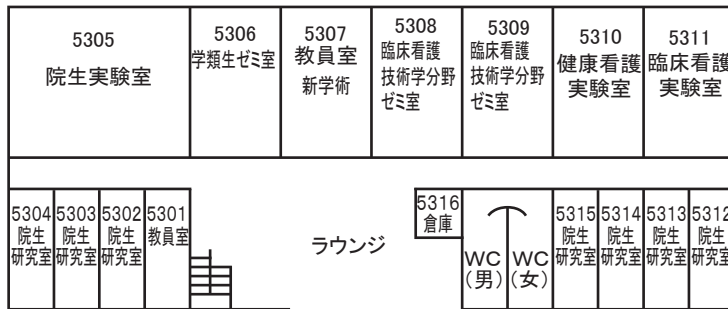
5階



4階

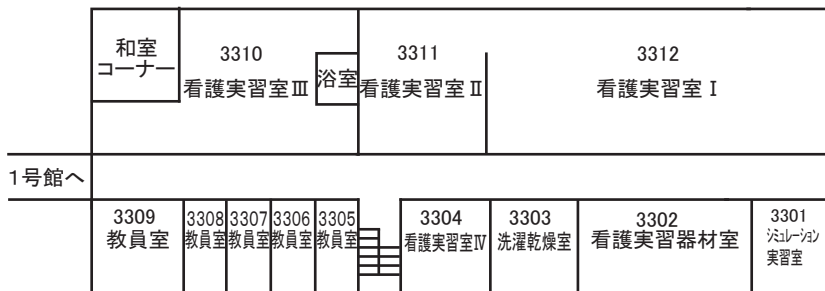


4号館



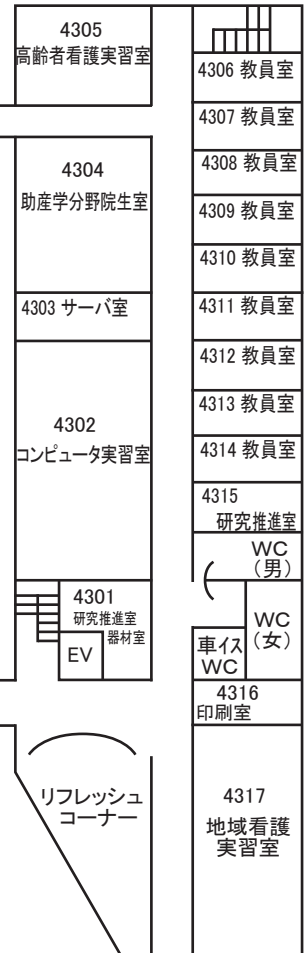
5号館

3階



1号館へ

3号館



4号館

令和6年4月

金沢大学医薬保健系事務部

保健学支援課保健学務係

〒920-0942 石川県金沢市小立野5丁目11番80号
TEL (076) 265-2515
FAX (076) 234-4351
E-mail t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp